



K.I.U. Rugby News

www.kiurfc.com

2001/09/29 Vol. 2 京都大学ラグビー部

いよいよラグビーシーズン到来。今回は関西大学リーグ戦を迎えるにあたり市口監督と福本主将のコメントを中心にお届けします。(編集委員)

京都大学ラグビーについて

監督 市口順亮 (S38 卒)



平成14年には、創立80周年を迎えます京都大学ラグビー部は、これまで5回の大学選手権出場を果たしています。現在では関西のBリーグに甘んじていますが、毎年慶応大学・同志社大学・東京大学等との定期戦を行うラグビー界では、名門校です。

その名門という言葉に恥じることなく、毎年、前向きに新しいラグビーに挑戦しています。

今年は、課題として、ポジション・ボーダレスを取り上げています。皆さんがご存じのように、現在ラグビーは、格闘技の要素が大きくクロズアップされています。それを否定することなく、我々も小が大を制すべく、毎日コンタクトに取り組んでいます。

しかし、ラグビーは、球技の要素を捨ててはなりません。このために、FW・バックス共に、毎日パスの練習にかなりの時間を割いています。その結果、FWのパスが随分と上達しました。そのパス力生かして、FWがバックラインに並ぶ考え方がポジション・ボーダレスです。この技術は、少人数でラックを出す等の技術も必要なため、未完成です。是非、みなさんの力をも借り、完成していきたいと言うのが私の夢です。

目指すはAリーグ

主将 福本匡志 (天王寺)



はじめまして。京都大学体育会ラグビー部主将の福本です。我が京都大学ラグビー部は、来年創部80周年を迎える伝統あるクラブです。

近年、私立大学が推薦制度を積極的に取り入れ大型化を図っているなか、我々は体格差というハンディを背負っていますが、かつて新日鉄釜石を7連覇に導いた名将市口順亮監督と共に「展開ラグビー」を武器に戦っています。一言で「展開ラグビー」と言っても、我々の場合FW・BKという枠にとらわれない(FWでもパスができるライン参加できる、BKでもポイントで仕事ができるという)「ポジションボーダレス」という考え方のもとに、グラウンドを大きく使いどこからでもトライが取れるラグビーをしています。

我が京都大学ラグビー部は、かつて関西Aリーグで活躍していた名門なのですが、現在は関西Bリーグの中位に甘んじています。そこでまず今年こそBリーグで優勝し、80周年をAリーグで迎えられよう日々練習に励んでいます。我々と共にラグビーという魅力あふれるスポーツを楽しみ、そして勝利を手にしようではないか。みなさんが誇り高きブルーライオンを胸に戦う日を心待ちにしています。

2001年秋 試合日程

日付	対戦相手	グラウンド	K/O	試合区分
9/08	同志社	同社田辺G	15:00	定期戦
9/23	大阪教育	大阪教育G	13:00	関西B
9/30	天理	大阪教育G	15:20	関西B
10/14	大阪産業	舞洲G	13:00	関西B
10/21	花園	関西大G	12:00	関西B
10/28	関西学院	京大宇治G	13:00	関西B・定期戦
11/04	大阪商業	大阪教育G	12:00	関西B
11/18	甲南	関西大G	13:40	関西B
11/24	関西	宝ヶ池	14:40	関西B
12/02	神戸	関西大G	12:00	関西B

この他に東京大学、九州大学との定期戦があります

2001年春 主な試合結果

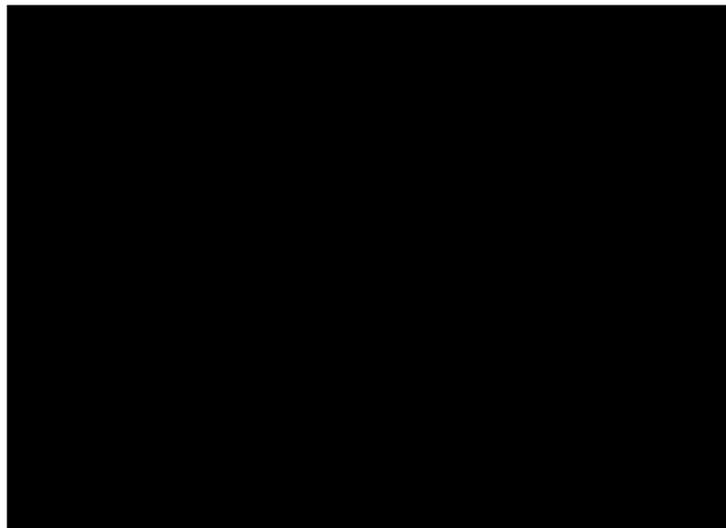
日付	結果			試合区分
4/22	京都	28-62	慶応義塾	定期戦
5/6	京都	12-87	立命館	定期戦
5/27	京都	50-12	神戸	近国準決勝
6/3	京都	7-62	大阪教育	近国決勝
6/10	京都	38-36	防衛	定期戦
6/17	京都	40-46	成城	定期戦

近国：近畿地区国立大学体育大会

2001年 新入部員

氏名	学部	出身校	身長体重	経験
安藤亘	工・工化	東海	164・57	野球
今吉毅	工・建築	ラ・サール	160・65	SH
内田慎輔	法	旭丘	182・90	LO
大西恒平	農・食料経済環境	桃山	162・55	SH
川崎豊	法	宇都宮	176・83	Pro
高橋直樹	法	東大寺学園	178・71	軟式野球
林克人	医短・看護	千里	174・68	CTB
松下慎二郎	農・地域環境工学	北野	172・64	SH
渡辺建	工・物理工	膳所	177・72	HO

卒業生進路



市口監督「プロジェクト X」に出演！



(NHK テレビより)

8月28日、NHKの「プロジェクト X」に京都大学ラグビー部監督の市口順亮が出演しました。「鉄の男たち 逆境からの日本一 ~伝説の釜石ラグビー部~」というタイトルで、市口が新日鐵に入社した昭和39年頃から昭和52年に早稲田大学を破って見事日本一になるまでの新日鐵釜石ラグビーの軌跡をたどった番組です。市口は選手と監督を経て昭和47年から10年間副部長を務め、新日鐵釜石ラグビー部の黄金期を築いた陰の主役といわれています。

海外の先進理論の研究、タックルを使わないパスゲーム「タッチフット」の導入、ラインアウトのスローイングをフッカーに固定するなど、今では一般に普及している練習や戦法を国内でいち早く取り入れたり、番組にも出演している地元釜石工高の瀬川清（ロック）をはじめ、日本代表となる逸材を東北各地から発掘し鍛え上げました。

☆「プロジェクト X」のビデオ差し上げます！

番組を見られなかった方のために、ビデオのコピーをお送りします（VHS；無料）ご希望の方は、次の編集委員までご連絡下さい。





K.I.U. Rugby News

www.kiurfc.com

2002/01/17 Vol .3 京都大学ラグビー部

関東学院、サントリーと大学・社会人の日本一も決まり、今年度のラグビーシーズンも残すは日本選手権のみとなりました。

京都大学ラグビー部は12月24日の東京大学との定期戦をもってシーズンを終えています。この日の試合は東京大学ラグビー部80周年記念事業のひとつとして、秩父宮ラグビー場で行われ、見事な勝利でシーズンの最後を飾りました。(編集委員)



京都大学ラグビーについて

監督 市口順亮 (S38 卒)

平成13年度の京都大学ラグビー部は、12月24日秩父宮ラグビー場での東京大学との定期戦を制して、シーズンを終えました。この試合では、今年度取り組んできました**ポジション・ボーダレス**さらには、京大独特の**折り返し攻撃**が遺憾なく発揮されました。

京都大学は、毎年新しいラグビーに挑戦しています。今年は、**ポジション・ボーダレス**と折り返し攻撃に挑戦しました。その基礎技術になったのが、ここ数年取り組んできました**パス力**です。高等学校でのラグビー経験の浅いあるいは全くない我々ですが、京大では新入生の時から**スピードのあるパス**が要求されます。その結果として、**フォワード・バック**の区分なく、全員が**パスの出来るようになってきました**。そして**ラックポイント**を出来る限り遠くに置き、そのポイントから折り返して、**フォワードとバック**が**ミックスしてライン**を構成して広く攻める。それが折り返し攻撃です。

京都大学ラグビー部は今年創部80周年

を迎えます。この記念すべき年にも、新しい挑戦に取り組む予定です。是非皆さん、一緒になって新しいラグビーに挑戦しようではありませんか。

後輩たちへ

主将 福本匡志 (天王寺)

リーグ戦、4勝5敗。6位。僅差で落とした試合が三つ。振り返ってみると、上位のチームとは技術、体格差以上に**気持ちの面で負けていた**と思う。

どんな苦しい状況でも絶対にあきらめない強い精神力。それがほんの少しだけ負けていたように思う。強い精神力、それはどれだけ自分がやってきたか、それに他ならないものだと思う。後輩たちには、もっともっと自分に自信を持てるよう取り組んでいてもらいたいと思う。そうすれば結果は自ずとついてくると思う。

今日という日は二度と戻ってこない。一日一日を大切に、**精一杯**取り組んでほしい。そして、**限りある京大**でのラグビー生活を満喫してください。君たちが、**Aリーグ**の舞台で活躍する事を祈っています。

最後に、京大ラグビー部という素晴らしいチームで、

2001年秋 主な試合結果

素晴らしい仲間達と出会い、共に過ごせた貴重な四年間、僕は本当に幸せでした。ありがとうございました。

俺はラグビーがしたいねん

4回生 渡辺 徹 (北野)

春シーズンは一本目のメンバーに選ばれていたが秋、リーグ戦が始まり俺はリザーブにも選ばれなかった。その時はほんまに自分がふがいなく、一本目の試合を外からみると『俺何してるんやろ？最後の学年やのに・・・』って考えていた。練習もどっかでなんか抜いて、はっきりいって腑抜けでした。

そんな中、秋シーズン中盤で二本目の試合が始まった。しかし二本目は、ぼろ負けの試合ばかり繰り返していた。そんな試合が続く中であまりのふがいなさに『こんなんで本当にいいのかい？俺は何でラグビーやってんねんやろ？』って考えた。その答えは、『ぶっさしタックルしたい、走りたい、ラストパス通したい、体ぶつきたい、勝ちたい、』とかそんな単純やけど純粋な気持ちが俺ん中にあった。『だからラグビーやってんのやろ！！』そう思った時、『もうあと残り僅かなラグビー生活何本目でもいいやん、俺はラグビーがしたいねん』って。心からそう思えた。

最後二本目の東大戦ほんまに勝ってうれしかった、ラグビーやってて本当に良かったです。



日付	結果			試合区分
9/8	京都	12-31	同志社	定期戦
9/23	京都	26-57	大阪教育	関西Bリーグ
9/30	京都	16-20	天理	関西Bリーグ
10/14	京都	17-22	大阪産業	関西Bリーグ
10/21	京都	50-26	花園	関西Bリーグ
10/28	京都	19-34	関西学院	関西B/定期
11/4	京都	17-8	大阪商業	関西Bリーグ
11/18	京都	22-20	甲南	関西Bリーグ
11/24	京都	27-28	関西	関西Bリーグ
12/2	京都	90-10	神戸	関西Bリーグ
12/16	京都A	31-41	九州A	定期戦
12/16	京都B	46-14	九州B	定期戦
12/23	京都B	31-24	東京B	定期戦
12/24	京都A	28-19	東京A	定期戦

京都大学ラグビー部創部80周年記念事業

京都大学ラグビー部は、大正11年(1922年)創部以来80周年を迎えます。記念事業として、以下の記念講演とパネルディスカッションを開催する予定です。

日時：2002年5月18日(土) 15:00より

場所：京都国際ホテル

《記念講演》

講師：全日本強化コーチ 宿沢広朗氏

「世界のラグビーの動向と日本のラグビー」(仮題)

《パネルディスカッション》

「学生ラグビーをいかに盛りたてるか」(仮題)

パネラー(予定)：

宿沢氏、慶應大学 上田監督、同志社大学 圓井監督、
東京大学 寺尾前監督、京都大学 市口監督

モデレーター：

村上晃一氏(ラグビージャーナリスト)

☆お願い

- (1)このレポートをラグビー部員の皆さんに回覧して下さい。大学進学後もラグビーを続けたいとお考えの選手の参考になれば幸いです。
- (2)もし当校に興味があったり、受験の予定がおりになる生徒さんがいらっしゃいましたら、担当の白石までご一報お願いします。





K.I.U. Rugby News

www.kiurfc.com

2002/09/17 Vol.4 京都大学ラグビー部

いよいよ秋のシーズン到来！ 各校選手の方々も、一年の成果を決める公式戦の時期を迎え、緊張して毎日の練習に励んでいらっしゃると思います。

京都大学ラグビー部は宿敵大阪教育大学を破っての近畿国立大学大会優勝、成城大学定期戦での大差の勝利など、まずまずの戦績で春のシーズンを終えました。夏の菅平合宿ではゲームを中心とした調整を行い、9月22日から、Bリーグ上位進出をかけたリーグ戦に臨みます。(編集委員)



<菅平での練習風景>

京都大学ラグビーについて

監督 市口順亮 (S38 卒)

京都大学ラグビー部は、今年、創部80周年を迎えました。この間、5回の大学選手権出場を果たし、毎年、慶応大学、同志社大学、東京大学等との定期戦を行うラグビー界では名門校です。しかし、現在は関西大学リーグのBに甘んじています。

今のラグビー界は、パワーラグビーが全盛です。狭い地域で、コンタクトを中心にボールをリサイクルしていくスタイルは、高校生、大学生、社会人の試合で一般的です。その中であって、我々は名門校の名に恥じることなく、異質なラグビーを展開しています。

それは、FW・BKSが長いパスを駆使して、グラウンドの幅一杯を使ったラグビーです。それを我々は「ポジション・ボーダーレス・ラグビー」と称しています。

それを達成するために、京大ではパス練習にかなりの時間を割いています。その結果、FWもBKSと同程度にまで、パスの能力が向上してきました。BKSがラ

ックに入っている、FWがラインに並び、パスを回していくスタイルは京大自慢のものです。

しかし、このスタイルは少人数でラックを出さなければならない等の問題点もあり、未完成のものです。これらを達成するためには是非みなさんの力を貸して下さい。入部を心待ちにしています。

高校生の皆さんへ

主将：横山 修一郎

高校ラグビー部の皆さん、はじめまして。京都大学体育会ラグビー部主将の横山です。

京都大学が秋に対戦する相手は、Bリーグですが、推薦入試などでラグビーの強豪高校から良い選手を入部させているチームが多くなっています。一般入試で入ってきた我々よりも、ひとまわりもふたまわりも大きな相手ばかりです。

しかし、我々はチームのまとまりと、市口監督の考えるFW・BKSにとらわれずに大きく展開するラグビーでこのような相手と戦っていきます。また、チーム全員、そして見ている人も楽しめる「enjoy rugby」をモット

ーにプレーしています。

今年は春から徐々にチームとしていいまとまりを見せているので、この先の秋のリーグ戦を毎試合ラグビーというものを楽しんでいきたいと思えます。

我々京都大学ラグビー部は、ラグビー好きにはたまらないチームだと言える自信があります。皆さん、一緒にラグビーしましょう！

2002年春 主な試合結果

日付	結果			試合区分
4/14	京都	26-31	大阪	練習試合
4/21	京都	5-64	慶応義塾	定期戦
4/28	京都	12-47	甲南	練習試合
5/12	京都	28-49	立命館	定期戦
5/19	京都	49-0	京都教育	近国大会
5/26	京都	67-0	和歌山	近国大会
6/2	京都	50-24	大阪教育	近国大会
6/9	京都	24-31	防衛	定期戦
6/17	京都	53-0	成城	定期戦

2002年秋 試合予定

日付	対戦相手	グラウンド	K/O	試合区分
9/8	同志社	同志社田辺	(24-38)	定期戦
9/22	関西学院	関西学院	14:00	リーグ戦
9/29	大阪産業	摂南	13:00	リーグ戦
10/13	関西	関西	14:40	リーグ戦
10/20	大阪教育	大阪市立	13:00	リーグ戦
10/26	摂南	宝ヶ池	13:00	リーグ戦
11/02	大阪市立	宝ヶ池	14:40	リーグ戦
11/17	花園	関西学院	14:50	リーグ戦
11/24	甲南	大阪市立	14:50	リーグ戦
11/30	大阪商業	宝ヶ池	13:00	リーグ戦
	九州大学			定期戦
	東京大学			定期戦

京都大学ラグビー部創部 80 周年記念シンポジウム



京都大学ラグビー部は、大正 11 年（1922 年）創部以来 80 周年を迎えました。記念事業として、以下の記念講演とパネルディスカッションを開催しました。

内容のすべてを当クラブの Web サイトに掲載しました。（<http://www.kiurfc.com/>）今後のラグビーを考える上で、各校の指導者や選手の方々の参考になると思いますので、是非ご覧ください。

日時：2002 年 5 月 18 日（土）

場所：京都国際ホテル

《記念講演》

講師：全日本強化コーチ 宿沢広朗氏

「世界のラグビーの動向と日本のラグビー」

《パネルディスカッション》

「学生ラグビーをいかに盛りたてるか」

パネラー：

宿沢氏、慶應大学 上田監督、同志社大学 徳原ヘッドコーチ、東京大学 寺尾前監督、京都大学 市口監督

モデレーター：

村上晃一氏（ラグビージャーナリスト）

☆お願い

- (1)このレポートをラグビー部員の皆さんに回覧して下さい。大学進学後もラグビーを続けたいとお考えの選手の参考になれば幸いです。
- (2)もし当校に興味があったり、受験の予定がおりになる生徒さんがいらっしゃいましたら、担当の白石までご一報お願いします。
- (3)その他、当クラブへのご意見・ご質問も以下までお願いします。



K.I.U. Rugby News

www.kiurfc.com

2003/02/09 Vol. 5 京都大学ラグビー部

受験シーズン真っ只中、先生各位におかれましてはそれぞれの試験や採点への対応や、教え子の生徒さんたちの大学受験や就職のフォローアップと、お忙しくまた心配の絶えない時期と存じます。

発行が少し遅れてしまいましたが、平成14年度シーズンの報告として、監督と部員のメッセージをお届けいたします。
(編集委員)



東京大学定期戦 (Aチーム)



東京大学定期戦 (Bチーム)

京都大学ラグビーの紹介

監督 市口順亮

平成14年度の京都大学ラグビー部は、12月23日京都の宝ヶ池球技場での東京大学との定期戦を78対14で快勝しシーズンを終えました。この試合は京都大学創部80周年記念行事の最後を飾るもので、今年度も取り組んできましたワイド攻撃が遺憾なく発揮されました。

現在、京都大学は関西大学ラグビーのBリーグに所属していますが、今年の成績は5勝4敗と勝ち越し、5位となりました。そのリーグでもフォワード、バックスが一体になったワイド攻撃は注目の的でした。このように他のチームとは違う戦法に取り組んでいる京大は、漸く成績も上昇しつつあります。

京都大学は決して才能に恵まれたチームではありませんが、キャプテンを中心に「おもしろいラグビー」に取り組んでいます。そして、このラグビーが将来の日本ラグビーを変えていくのだとの誇り

をいつも抱いています。

京大のラグビーは面白い

主将 横山 修一郎 (茗溪学園)

去年主将をつとめさせてもらいましたが、本当にいい一年でした。

京大のラグビーは面白かった。勝ち負けということも大事なことですが、とにかく楽しみました。そういうラグビーを心から楽しめる環境が京大ラグビー部にはあります。経験者も未経験者も関係ありません。みんな一緒になって、楽しみました。

高校生の皆さん、ラグビーに少しでも興味があるなら、京大入って、ラグビーしましょう。これだけは、自信を持って言える、絶対に入ってから後悔することはない。

待ってます！

再びラグビーの虜に

4回生 安立 貴之 (ラ・サール)

私は高校三年間ラグビー部に所属していましたが、大学ではラグビーは観戦専門にして、他の様々なことにチ

チャレンジして自分のやりたいことを見つけようと思っていました。しかし大学生活の一年目は時間を持って余してしまい、だらだらと一日一日を送ることが多かったように思います。

大学生活二年目の夏、ひょんなことからラグビーの試合をする機会がありました。高校の最後の大会以来およそ二年振りのことです。その時の感激は、何か懐かしくラグビーを始めた頃の気持ちに似たものがありました。ステップで相手を抜くことが、タックルで仰向けに倒すことが、そして、ただボールを追いかけて走るだけで、本当に、本当に、楽しくて、楽しくて、体中の震えがずっとおさまらなかつたのを今でも覚えています。

大学に入ってから探していた自分のやりたいことが、その時分かった気がして、私は再びラグビーをする決心を固めました。

京都大学ラグビー部はそうした私の期待に十分にこたえてくれるところでした。フォワード、バックス一体となって大きく展開する京大のスタイルは、プレーヤーにとっても見る側にとっても非常に面白いものです。そして何より明るい雰囲気・ラグビーを楽しむことに重点を置いているところ。私は存分に大学生活を楽しむことができました。

皆さんも、是非京大ラグビー部にきて一緒にラグビーを楽しみましょう。

選手とともに成長

マネージャー 浜田枝里子

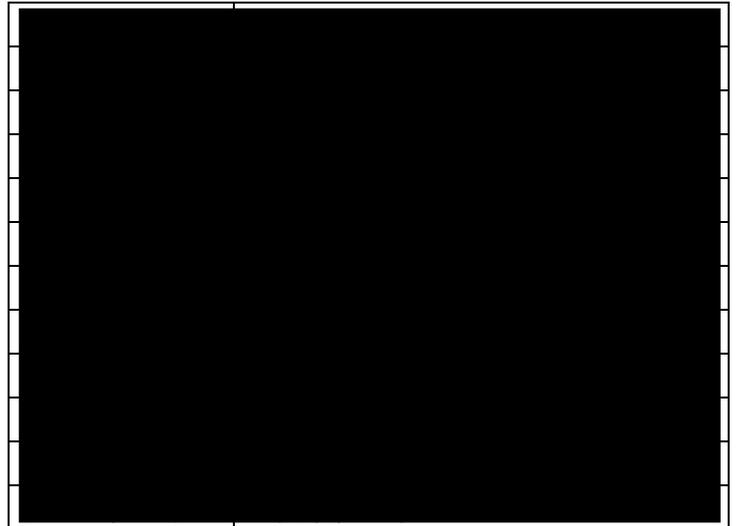
4年間を通じて様々なことを学び、成長できたと思います。何より、プレーこそしなくても、ラグビーというスポーツに触れてこれほど心が熱くなり、涙がこぼれるほどの感動を経験したことは、私にとって大きな財産となりました。「ポジション・ボーダーレス」、広い広いラインを作って観客席をどよめかせる京大ラグビーのス

タイトルは私の誇りです。京大ラグビー部のマネージャーになって良かったと、心から思います。

2002年秋 主な試合結果

日付	結果			試合区分
9/8	京都	24-38	同志社	定期戦
9/22	京都	21-48	関西学院	関西B/定期
9/29	京都	20-19	大阪産業	関西Bリーグ
10/13	京都	56-24	関西	関西Bリーグ
10/20	京都	53-28	大阪教育	関西Bリーグ
10/26	京都	28-32	摂南	関西Bリーグ
11/2	京都	76-12	大阪市立	関西Bリーグ
11/17	京都	19-34	花園	関西Bリーグ
11/24	京都	5-32	甲南	関西Bリーグ
11/30	京都	81-7	大阪商業	関西Bリーグ
12/15	京都A	68-12	九州A	定期戦
12/15	京都B	60-0	九州B	定期戦
12/22	京都B	20-19	東京B	定期戦
12/23	京都A	78-14	東京A	定期戦

4回生進路



☆東大戦ビデオ進呈します

78-14で快勝した年末の東京大学定期戦のビデオを、VHSにダビングして進呈いたします。京大のワイド攻撃を実際にご覧いただくことができます。ご希望の方は送付先を明記の上、白石までご連絡ください。

☆お願い

- (1)このレポートをラグビー部員の皆さんに回覧して下さい。大学進学後もラグビーを続けたいとお考えの選手の参考になれば幸いです。
- (2)もし当校に興味があったり、受験の予定がおありになる生徒さんがいらっしゃいましたら、担当の白石までご一報お願いします。とくに今春の受験を予定している方を紹介していただき、勧誘の参考にさせていただきたく存じます。



K.I.U. Rugby News

www.kiurfc.com

2003/10/17 Vol.6 京都大学ラグビー部



菅平合宿最終日



スクラム練習 (菅平)

受験生の皆様に

監督 市口順亮

受験生の皆様、秋が深まり勉強に勤しんで居られることに陰ながら応援しております。

ラグビー界では今年はトップリーグが始まり、またワールドカップも開催されるというビッグな年になりました。京都大学ラグビー部も昨年80周年を迎え、今年は新たな出発の年を迎えております。そして現在京都大学の所属する関西大学Bリーグが始まり熱戦が続いています。

さて京都大学ラグビー部は、かつて大学選手権に5回出場するという快挙を成し遂げています。現在は推薦入学を行えないハンディを背負って、関西のBリーグに甘んじていますが、常に上を目指し伝統である新しいラグビーに取り組むと言う姿勢は変化していません。

現在取り組んでいますのはパス技術をのぼすことで、開いたスペースへ確実にパスを繋ぐ戦法です。パスの練習を長時間取り入れることで、フォワードもパスが出来るようになり、コンタクト時に良いボールが出ますと、フォワード、バックス区分なくラインを構成し、開いたスペースにボールを運び、大幅にゲイン、あるいはウイングが快走してトライを取るという観衆を

わかつプレーがたくさん見られるようになりました。

今年は観衆をわかすだけでなく、勝つラグビーをしようとディフェンスとセットの強化に取り組んでいます。この成果は必ず現れると期待しているところです。

以上京都大学ラグビー部の一部しか紹介できないのは残念ですが、上に示しましたように大学ラグビーを少しでも良くしていこうと言う思いが一杯のチームです。是非、一緒にラグビーをやりましょう。来年の春皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

今シーズンの経過

主将 宮田隆治 (熊本)

今シーズンは一昨年と昨年の展開ラグビーをふまえ、さらに精度の高い展開ラグビーを目指そうと思った。しかし去年と比較してフォワードが軽量化し、また4回生の人数も8人と少なく不安があった。このような状況でさらに上のレベルを目指す為に、筋トレによる体力アップ、フィットネスによる持久力アップ、ディフェンス力のアップを練習の主眼としてきた。しかし春シーズンは思うような成績を残すことが出来なかった。原因は攻撃の継続力の弱さとセットプレーの精度の低さであると分析し、8月から展開の方法に若干の改良を加え、ボールに対するフォワードの働きかけを厚く出来るようにした。夏合宿ではその効果が幾分か表れた。対同志社戦では夏

合宿の成果を発揮できればいい試合が出来ると自信を持って望んだが、力負けして完敗した。現在は浮き出た課題を克服すべく懸命に練習を重ねている。リーグ戦まで時間は残り少なく、後はやるべきことをやるだけである。結果は出ると信じている。

京都大学のラグビー

OB 会副会長（元監督）米良章生

日本のラグビーは今、大きく変わろうとしています。社会人レベルでは、トップリーグの創設、選手のプロ化、神戸製鋼と吉本興業の業務提携等に見られる異色の組み合わせ等、ワールドカップでの勝利を至上命令に、一言でゆくと、企業スポーツからの脱却が進みつつあります。大学レベルでは、今年はリーグ戦の再編にこそ至らなかったものの、リーグ戦後、順位決定の為にトーナメントの導入（関西リーグ）、一部大学と企業との提携等、これ又、新しい動きが顕著です。しかし、このように環境、与件は変わっても、ラグビーそのものは、変わっていない、むしろ壁にぶち当たっているともいえるのが、日本ラグビーの現況といえます。かかる状況下、必ずしも恵まれた環境下にあるとは言えない国公立大学ですが、なかで、京都大学はどんなラグビーを目指しているのでしょうか。

ラグビーの原点は、ボールをパスしながら前進することにあります。京都大学のラグビーは、このパス、球運びを重視したボールゲームの面白さの追求であり、そのボールキャリアを一発のタックルで倒す魅力の追求です。巨漢と巨漢が力を競う格闘技ではありません。

学生ラグビー界にもひたすら勝つことを追求し、プロの予備軍化しているところがあれば、古い表現ですが、文武両道、純粹のアマチュアリズムをベースにラグビーに精進している大学もあるといった具合で2極分化してきています。

その学生ラグビーの中で、京都大学の占める地位は、勝敗だけでは語れない、大きなものがあり、日本のラグビーに多大な貢献をしてきたことは知る人ぞ知るところです。

ラグビーは多様です。格闘技的要素がラグビーの全てではありません。

日本ラグビーの閉塞感を打破するのに、いささかなりとも貢献できるのではないかと、とうとう自負と高い志をもって、京都大学はラグビーに精進しています。

是非一度、京都大学のラグビーをご覧いただき、日本の将来を担う学生諸君が青春を賭けるに値するスポーツであり、且つ日本のラグビー界にも少なからぬ貢献をなすうることをご理解いただければと祈念しております。

2003年春 主な試合結果

日付	結果		試合区分
4/20	京都	10-93	関西学院 定期戦
4/27	京都	18-75	慶応義塾 定期戦
5/11	京都	0-57	立命館大 定期戦
5/18	京都	27-5	京都工繊 近畿国立
6/1	京都	17-19	神戸大 近畿国立
6/15	京都	53-32	成城大 定期戦
6/22	京都 A	17-40	防衛大 A 定期戦
6/22	京都 B	7-36	防衛大 B 定期戦

2003年秋 試合予定と結果

日付	結果		試合区分
9/7	京都	14-85	同志社 定期戦
9/21	京都	19-17	神戸大 関西Bリーグ
9/28	京都	10-41	関西大 関西Bリーグ
10/12	京都	31-44	大阪産業 関西Bリーグ
10/19	京都		花園大 関西Bリーグ
10/26	京都		甲南大 関西Bリーグ
11/2	京都		摂南大 関西Bリーグ
11/16	京都		大阪経済 関西Bリーグ
11/23	京都		大阪教育 関西Bリーグ
11/29	京都		大阪市立 関西Bリーグ
未定	京都		九州大 定期戦
未定	京都		東京大 定期戦

☆東大戦ビデオ進呈します

78-14 で快勝した昨年の東京大学定期戦のビデオを、VHS にダビングして進呈いたします。京大のワイド攻撃を実際にご覧いただくことができます。ご希望の方は送付先を明記の上、白石までご連絡ください。

☆お願い

- (1) このレポートをラグビー部員の皆さんに回覧して下さい。大学進学後もラグビーを続けたいとお考えの選手の参考になれば幸いです。
- (2) もし当校に興味があったり、受験の予定がおありになる生徒さんがいらっしゃいましたら、担当の白石までご一報お願いします。とくに来春の受験を予定している方を紹介していただき、勧誘の参考にさせていただきたく存じます。



K.I.U. Rugby News

www.kiurfc.com

2004/02/20 Vol.7 京都大学ラグビー部

2003年度の京都大学ラグビー部は、リーグ戦1勝8負と残念な結果になりました。しかし12月21日に行われた東京大学との定期戦では、前年を上回る80-0で快勝することができました。その試合については「ポジションボーダレスラグビー全開で大勝、4連勝成る」というタイトルでラグビーマガジン3月号でも紹介していただきました。今回も市口監督とキャプテンの寄稿を中心にお届けします。

(編集委員)



東京大学定期戦



成城大学定期戦

京都大学ラグビーの紹介

監督 市口順亮

昨年の暮れ、東大駒場グラウンドで、京大ラグビー部の宮田主将の身体が宙を舞った。東大との定期戦80-0そして4年連続勝利に酔う部員の腕が主将の重い身体を持ち上げた。

今年のリーグ戦は振るいませんでした。何度も何度も判子で押したように、京大ゴール前でのラインアウトモールを押し込まれる。京大のワイド攻撃を覚えられたかの如く、ドリフトディフェンスで押さえ込まれる。

この鬱憤を晴らすような東大戦での快勝でした。

京大は、関西ではいち早くスピンプスによるバックスのライン回しを取り入れました。その技術を生かして、関西の大学では余りみられないスピンプスによるワイド攻撃、そしてFWがバックス並のスピンプスを駆使して折り返す攻撃を編み出しました。

この攻撃には長短所を具えています。長所であり短所なのは、ワイドに攻めた時に少人数でボールを出さなければならないことです。今年のリーグ戦では、そ

れが短所となりました。

東大戦の勝利は、その短所が長所に変身したからです。

京大は新しい技術を考案、あるいは取り入れるのが伝統です。受験生のみなさん、合格をお祈りするとともに、京大ラグビー部への入部されることを期待しております。そして折り返し攻撃の新たな展開を一緒に考えていこうではありませんか。

意識改革が必要

主将 宮田 隆治 (熊本)

学生ラグビーにおいては、試合において選手が潜在能力を含め実力を全て出しきることが最大の目標の一つである。それが可能となるためには、日々その日にできる最高の努力を積み重ねることが必要である。

ここで京大ラグビー部の現実に目を向けてみる。練習後の筋トレ、オフ中の筋トレは充分とはいえない。というように、各部員がその日にできる最高の努力を日々行っているとはいえないのが実態である。京大ラグビー部は自主性を重んじているので、各部員の「意識」がその部員のラグビーに対する取り組みの質を左右する度合いが大きい。よって、京大ラグビー部に今一番必要なも

のは意識変革である。

意識変革には何かきっかけが必要であると思う。ここで納会での米良さんの「部室の掃除をなさい」という言葉が思い出される。まだ他にもきっかけになることはたくさんあると思う。また何かしらの行為の継続が意識変革につながることもあると思う。また各部員の意識変革が他の部員の意識変革につながることもあると思う。

まずは各部員が自分は何ができてないか、自分は何ができるか、自分は何をしなければならぬかを考えることから始めてほしい。自分自身、後輩のためになることは可能なかぎり協力したいと思っている。また協力してくれるOBはたくさんいる。現役のみんな頑張ってくれ。

待ってます！

次期主将 松下 慎二郎（北野）

受験生のみなさんこんにちは。今ここで大学入学後のみなさんの生活についてお話しするのは気が早いかもしれませんが、軽い気持ちで息抜きにでも読んでいただければ、と思います。

みなさんは高校でラグビーをプレーしてきて、ラグビーの魅力にとりつかれ、大学でもラグビーをしよう、と思っている方もいれば、中には大学生活はラグビーではないことにも情熱を注ぎたいと考えている方もいるでしょう。実際、今うちのラグビー部の仲間と話聞いてみても高校生の頃に思い描いていた大学生活というのはさまざまです。そしてラグビーに対するスタンスや取り組む姿勢も人それぞれです。僕はそのことをわかったうえで、みなさんが京都大学に入学したときは京都大学ラグビー部へ入部することをおすすめします。

というもさきほど述べたように、僕たちラグビー部の仲間にはさまざまな考えの人がいて、自主性を尊重したうえで、みんなが「ラグビーが好きだ」という同じ気持ちのもと結束して活動しているからです。その結束が仲間への信頼、チームへの誇りになっていき素晴らしいラグビー、素晴らしい試合ができるのがこのチームだと思います。つまりラグビーを好きな気持ちがあれば誰でも自分の力を勝利につなげるのできる環境である、ということです。みなさんもぜひ一緒に好きなラグビーを楽しみ、最高の仲間とともに充実した大学生活にしましょう。待ってます！

ハマった奴ら

次期副主将 渡辺 建（膳所）

大学まで入ってスポーツをするのは難しいことだと思います。特に京都大学はほとんどの人が勉強をするために入ってきているでしょう。経験者でも、そのような中で部に入ってラグビーをするなどまったく考えてない人も多いでしょう。でもラグビーというのは一度のめりこんだらやめられない魅力があると思います。

うちの部はそういう魅力にハマったやつらの集まりです。経験者はもちろん、初心者の方も一度この魅力を味わって欲しいと願っています。

新人勧誘担当より

新4回生 満原 健（灘）

現在京大ラグビー部は関西Bリーグに所属しています。相手は強豪ばかりで、彼らとの様々な能力の差を独特の戦術などで補って戦っています。そのため練習はある程度厳しいものになります。

しかし厳しいだけというようなことは一切なく、ラグビーのような集団競技では当然のことですが、厭な上下関係のない、先輩に意見を言えるクラブです。また一年中ラグビーに明け暮れるわけではなく、一年に四ヶ月ほどオフがあるので趣味や勉強との両立もできます。京大に入学した時には是非一度見学に来て下さい。志ある人の入部を待っています。

2003年秋 主な試合結果

日付	結果			試合区分
9/7	京都	14-85	同志社	定期戦
9/21	京都	19-17	神戸	関西Bリーグ
9/28	京都	10-41	関西	関西Bリーグ
10/12	京都	31-44	大阪産業	関西Bリーグ
10/19	京都	33-69	花園	関西Bリーグ
10/26	京都	7-29	甲南	関西Bリーグ
11/2	京都	0-72	摂南	関西Bリーグ
11/16	京都	5-50	大阪経済	関西Bリーグ
11/23	京都	0-50	大阪教育	関西Bリーグ
11/29	京都	21-26	大阪市立	関西Bリーグ
12/7	京都	52-5	大阪学院	入替戦
12/14	京都A	22-39	九州A	定期戦
12/14	京都B	29-26	九州B	定期戦
12/21	京都A	80-0	東京A	定期戦
12/21	京都B	10-65	東京B	定期戦

☆東大戦ビデオ進呈します

年末の東京大学定期戦のビデオを、VHSにダビングして進呈いたします。京大のワイド攻撃を実際にご覧いただくことができます。ご希望の方は送付先を明記の上、白石までご連絡ください。

☆お願い

- (1)このレポートをラグビー部員の皆さんに回覧して下さい。大学進学後もラグビーを続けたいとお考えの選手の参考になれば幸いです。
- (2)もし当校に興味があったり、受験の予定がおりになる生徒さん、見事合格された生徒さんがいらっしゃいましたら、担当の白石までご一報お願いします。



K.I.U. Rugby News

www.kiurfc.com

2004/09/26 Vol .8 京都大学ラグビー部

恒例の菅平合宿を終えて一回り遅しくなった京大ラグビー部は、いよいよ秋のシーズンを迎えました。19日に行われたリーグ戦初戦の甲南大学との試合は、惜しくも終了間際に逆転トライを許し敗れましたが、昨年4位のチームに善戦し今後の躍進が期待されます。
(編集委員)



菅平合宿



練習試合

夏合宿を終え、秋シーズンを迎えて

監督 市口順亮

夏合宿は、例年通り菅平で行われた。グラウンドが人工芝のお陰もあって、雨降りの日も通常通りの試合が出来、順調に仕上がった。人工芝は、天然芝と比較すると極端にジャージ等の汚れが少なく、選手の負担を洗濯面でも和らげてくれた。但し、良いことだけでなく、人工芝独特の怪我、すなわち、シューズが芝に掛かり過ぎての足首の捻挫が目立った。これは、来年以降の課題となりそうである。

さて、この合宿では、1人2ポジションをこなす目標を上げた。もう一つは、相手のディフェンスの形によっては、新たな攻めを編み出すことを目標にした。前者については、1部の1回生には、FWとBKSのポジションを経験させた。また、怪我のため実施出来なかった選手には、9月に行われた同志社との定期戦で、前半FWを、後半BKSを経験させた。秋シーズンにおいては、

これらの成果から選手の起用の自由度が上がりそうである。

後者については、極端なディフェンスシステムを取るチームがなかったが、相手のディフェンスを頭に置くことで、キックの大切さを感じさせることが出来た。従来、京都大学は、相手のディフェンスシステムがどうであれ、また味方陣

でも外展開を行ってきた。これが、夏合宿の試合を通して、徐々にあるが、ハイパント、あるいは、キックパス等のキックを使うようになってきた。まだ、キックをどの場面で使うかは、試行錯誤の状態であるが、秋シーズンには、戦術面で多様性が出てくるものと思われる。

以上の成果を発揮できるシーズンがいよいよやってくる。リーグ戦では9試合を行う必要があり、怪我はつきものである。控えの選手の対応が大切になってくる。夏合宿の1人2ポジションを行ったことで、少ない部員でも豊富な控えとなってきた。また、昨年くやしい思いをした対戦相手に対しても、キックを使えることで、昨年よりは、良い試合が出来る予感がしてきている。次回は、きっと良い報告が出来ると思っている。

夏合宿を終えて

主将 松下 慎二郎 (北野)

今年の夏合宿は例年通り毎日試合を行うという試合中心のスケジュールでしたが、日を重ねるにつれて怪我人も出てくるなどなかなかハードなものとなりました。しかし一週間近くラグビーだけに集中できる環境というのはやはり貴重なもので、部員同士もラグビーのこと、チームのことについて毎日話し合い、技術はもちろんチームとしての結束力が非常に強まったことを感じました。また人数の不足、ならびに秋シーズンを戦っていくための必要事項として市口監督が掲げられている「1人2ポジション」という能力を身につけるためという目的もあって、試合によってはFWの選手がBKとして出場する試合もあるなど、完全に秋シーズンを想定した選手起用やゲームプランを試してきました。今回の合宿で得られたものや、チームで考え話し合ってきたラグビーを、同志社大学との定期戦や毎日の練習を通して磨き完成させて、秋シーズンに良い結果を出せるように、チーム一丸となって頑張ろうと思います。

合宿秘話

合宿は毎年長野県の菅平高原で行っているのですが、毎年多くのOBの方々も応援に来てくださいます。今年も去年卒業された宮田前主将を筆頭に若手のOBさんが練習を手伝ってくださったり、多くのOBさんの応援をいただきました。その中でも昭和29年卒の西郷光一さんはミーティングに出てくださってたくさんのお話になるお話をいただきました。その話は相手を一発で倒すタックルのコツ(僕としては目から鱗でした!)などラグビーのことから始まり、卒業後社会に出て生きていくための心構えや、最後には人生そのものについて話してくださいました。部員の間もみんなも疲れていたはずなのですが、みんなその重みのある言葉に聞き入っていました。その次の日の試合ではみんな西郷さん直伝のタックルをしたのか、Aチームの完封を含む合宿最少失点!やはり教わったことをすぐ次の日の試合で試せるというのも合宿ならではのいいところです。西郷さんありがとうございました!

2004年春 主な試合結果

日付	結果			試合区分
4/11	京都	7-107	関学大	定期戦
4/18	京都	21-75	慶應大	定期戦
5/2	京都	10-83	立命館	定期戦
5/9	京都	31-5	大阪大学	近国一回戦
5/16	京都	5-32	大阪教育	近国二回戦
6/13	京都	28-50	防衛大学	定期戦
6/20	京都	57-12	成城大	定期戦

2004年秋 試合予定と結果

日付	結果			試合区分
9/5	京都	12-52	同志社	定期戦
9/19	京都	17-21	甲南大学	関西Bリーグ
9/26	京都		摂南大学	関西Bリーグ
10/10	京都		花園大学	関西Bリーグ
10/17	京都		関西大学	関西Bリーグ
10/24	京都		大阪市立	関西Bリーグ
10/30	京都		大阪経済	関西Bリーグ
11/14	京都		大阪産業	関西Bリーグ
11/21	京都		神戸大	関西Bリーグ
11/28	京都		大阪教育	関西Bリーグ
12/18	京都		九州大	定期戦
12/23	京都		東京大	定期戦

詳しい予定や試合結果については、ホームページでご確認ください。

<http://www.kiurfc.com/>

☆お願い

- (1)このレポートをラグビー部員の皆さんに回覧して下さい。大学進学後もラグビーを続けたいとお考えの選手の参考になれば幸いです。
- (2)もし当校に興味があったり、受験の予定がおりになる生徒さんがいらっしゃいましたら、担当の白石までご一報お願いします。とくに来春の受験を予定している方を紹介していただき、勧誘の参考にさせていただきたく存じます。



K.I.U. Rugby News

www.kiurfc.com

2005/02/07 Vol .9 京都大学ラグビー部

リーグ戦の結果は不本意に終わってしまいましたが、市口監督の挨拶と、新旧キャプテン・2年目を迎える部員のラグビーに対する熱い思いをお届けします。(編集委員)



大阪教育大学戦



関西大学戦

受験生の皆様へ

監督 市口順亮

この文章が届く頃は志望校も絞られ、最後の追い込みの時期と思われる。あるいは、すでに進学校が決定されているかもしれませんが。そんな皆さんに簡単に京都大学ラグビーが目指しているものを紹介し、今後の大学生活を楽しむ上での参考にして頂きたいと思います。

京都大学のラグビーは、難しすぎるとの1部の声もありながら、ワイド攻撃を目指しています。相手の1列に並んだディフェンスに穴をあけるクラッシュでなく、パスで大外に運び、タッチライン沿いをウイング等が走るラグビーです。

しかし、今、正直な所壁にぶち当たっています。1つは、相手が我々の攻撃を研究し、京大の攻撃を上回る防御網が敷いてきていること。もう一つは、京大のパス力に対戦相手も追いつきつつあること。すなわち、パス力でこれまで、相手と差別化が出来ていたが、その優位性が薄れてきたことです。さらには、FWの軽量の弱点を徹底して攻めて来られること。すなわち、スクラム・ラインアウトモールを相手は押してくる。

京都大学のラグビー部は、主将を中心にした学生が運用しているクラブです。監督は主将等の相談役です。すでに、自分たちで選んだ主将、副将、主務を中心に次年度の練習の進め方等を検討しています。その中で、先に挙げた理想を掲げながらも、もう一度原点に戻り、タックル、セイビング等の泥臭い練習を多く取り入れようと考えてくれているようです。練習では、「オールアウト」すなわち「全力を出し切ること」を合い言葉にしてくれるようです。それが実行されれば、必ず良い成績が付いてくると信じています。

充実した四年間でした

主将 松下 慎二郎(北野)

高校生の皆さんは大学生になったときの自分の姿や、どのようにして大学生生活を充実したものとするかといったビジョンは、まだ明確ではないでしょう。「大学生活とはこのようにあるべきだ」と偉そうに語ることはできませんが、自分自身の経験について話し、その中に何か参考になることがあればと思います。

僕は大阪の北野高校でラグビーを始め、そこでラグビーの魅力にとりつかれました。朝、昼、夕方とラグビーの練習、勉強するのはテスト前だけといった生活で、成績は学年でも下のほうでした。その頃の僕は本当にラグビーばかり考えていましたし、チームに高校日本代表になるようなラグビーをよく理解していた者もいて、自主的に意見を出し合って練習するのが楽しくて仕方ありませんでした。とはいえ練習は厳しく、家に帰ったらすぐ寝てしまうというわけです。しかし今思うとこの頃の経験が、大学でまたラグビーをすることに繋がったと思います。

国立大学に行きたいと必死に勉強して一浪後運良く京大に合格した僕は、とりあえずサークルかクラブはしようと考えていたので、軽い気持ちでラグビー部の見学に行きました。まず驚いたのはその環境です。ラグビー部専用の広大なグラウンドから専用のトレーニングルーム、合宿所、食堂、ミーティングルーム、シャワー室、更衣室 etc...、これなら好きなだけラグビーができると思いました。そして最も心を動かされたのが、チーム全員がとても仲が良く自主的にラグビーに取り組んでいることです。「市口さん」と呼ばれている監督(実は偉大な指導者でした!)が提案する、ヒントのようなアドバイスをみんなで話し合い、動きの中で形にしていくといった感じでした。ここなら高校時代に楽しかったラグビーをさらに楽しめる、今まで味わえなかったラグビーの魅力に出会えると思い入部を決めました。

入部後どんどんとラグビーの楽しさにはまっていき、あつとい

う間に4年間が過ぎました。そして今では最高に充実した4年間と、それを共に過ごした最高の仲間が僕の財産として残っています。大学生活を充実させるための手段として、何かに打ち込むことは大変有効です。そして京大ラグビー部にはそのための環境があり、自分を高めてくれる仲間がいます。勉強もクラブも頑張ってください。これを読んでくれたあなたが僕たちの仲間になってくれるのを待っています。

一緒にラグビーをやきましょう！！

次期主将 竹内 広悟 (六甲)

我がラグビー部は80年以上の歴史を誇りますが、伝統に縛られることなく創造性豊かなラグビーを目指しています。他大学が有名高校からの推薦により戦力を集めているのに対し、京大は強豪校出身の部員はほとんどいません。むしろ15人揃わなかったチームや弱小校出身者のほうが多いです。そのため比較的体が小さく、身体能力的にも勝っているとは言えません。しかしながら他大学に対する優位性を見出し、試行錯誤しこれまでやってきました。ポジションボーダーレスによるFW、BK一体となった戦術に取り組んでおり、グラウンドいっぱいロングパスで大きく振ることを目指してきました。昨年はBリーグ9位と残念な結果でしたが、今年はさらに試行錯誤して改善し他校に勝てるような戦術を練って、Aリーグに上がるという明確な目標のもと努力していきます。

京都大学に入ることはそう簡単なことではないでしょう。僕自身も一年間浪人し、さらに後期で合格と苦しい受験を経験したので、受験戦争の厳しさはわかっています。しかしぜひ京大に入学しラグビーを続けて下さい、京大ラグビー部にはその価値があります。昨年は良い結果を残せませんでした。Aリーグに上がるためには何が必要なのか先輩方が教えてくれました。今年こそ躍進のときです。どの大学を目指すか、大学生活の過ごし方は人それぞれですが、京大ラグビー部でならきっと充実した4年間を過ごせると思います。ラグビーに対して熱い気持ちを持つ人はもちろん、少しでも興味を持っていてくれる方や初心者の方とも一緒にプレーできることを楽しみにしています。

かけがえのない仲間づくり

小林 晋 (海城)

僕は大学合格当初、体育会のラグビー部に入ろうとは思っていませんでした。東京の高校から京大にきたのですが、高校の仲間はみんな関東の大学に行っていたし、京大に入った先輩からも特に誘われていなかったからです。大学の体育会というと、練習が厳しく上下関係があつて辛いイメージがあつたからでもあります。大学生活はサークルに入ったりしていっぱい遊べると考えていたからです。ではなぜラグビー部に入ることになったかという、やはりラグビーが好きだからです。小学校で数年、高校で3年間やってきて、全てを出し切ったという気にはなっていませんでしたし、4月の新歓の時期に練習に参加して久しぶりにラグビーをしてみて、やっぱり自分がラグビーが好きであるということに気づきました。現在ラグビーに没頭している高校生の皆さんもラグビーが好きはなはず。京大ラグビー部はラグビーの大好き

な奴らが集まっています。

京大ラグビー部に入ってもうすぐ1年が経とうとしています。自分の体育会の部活に対する固定観念が変わりました。京大ラグビー部は体育会の辛いイメージではなく、上下関係はありませんが先輩が先輩のことをいじったり、先輩と一緒にアフター練をして仲良くなったり、と上下関係が厳しいという印象はありません。練習が厳しいのは事実ですが、そんな厳しい練習をやり遂げ試合に勝利するという目標を達成するために一丸となってチーム作りをしていく、この過程の中で同学年はもちろんの、先輩や後輩とも連帯感が生まれ、かけがえのない仲間となっていくのだと思います。共に戦っている仲間とは一生仲良くやっていけるような気がします。サークルに入ったり、何も入らないでいると手に入らない仲間を得ることができます。大学に入って4年間、再びラグビーに打ち込むことで、技術的にも精神的にも成熟していると思います。

2004年秋 主な試合結果

日付	結果			試合区分
	対戦相手	スコア	結果	
9/5	京都	12-52	同志社	定期戦
9/19	京都	17-21	甲南大学	関西Bリーグ
9/26	京都	19-40	摂南大学	関西Bリーグ
10/10	京都	5-76	花園大学	関西Bリーグ
10/17	京都	3-61	関西大学	関西Bリーグ
10/24	京都	24-12	大阪市立	関西Bリーグ
10/30	京都	12-29	大阪経済	関西Bリーグ
11/14	京都	10-48	大阪産業	関西Bリーグ
11/21	京都	12-29	神戸大	関西Bリーグ
11/28	京都	12-50	大阪教育	関西Bリーグ
12/18	京都	19-41	九州大	定期戦
	〃 B	20-0	〃 B	
12/23	京都	26-43	東京大	定期戦
	〃 B	12-12	〃 B	

卒業生進路



☆ お願い

- ・このレポートをラグビー部員、あるいはその他のスポーツに取り組んでいる生徒の皆さんに閲覧して下さい。大学進学後もラグビーを続けたいとお考えの選手の参考になれば幸いです。
- ・もし当校に興味があつたり、受験の予定がおありになる生徒さん、見事合格された生徒さんがいらっしやいましたら、担当の白石までご一報お願いします。





K.I.U. Rugby News

www.kiurfc.com

2005/09/19 Vol.10 京都大学ラグビー部

2005年ラグビーシーズン開幕！！ 京都大学ラグビー部も先週行われた同志社大学との定期戦を皮切りに公式戦がスタートしました。
(編集委員)



同志社大学定期戦



同志社大学定期戦

受験生の皆様へ

監督 市口順亮

今年タイで、エイティエイティ（80Kg以下×80分）のラグビー大会がありました。体重を制限するもので、実際には85Kg以下であったと聞いております。これは京大80周年記念シンポジウムで私が主張したもので、それが実現しました。私はラグビーの強さはFWの平均体重に左右されると考えています。

京大のFWの平均体重は、今春シーズン開始時は78Kg程度と皆さんと余り変わらないレベルでした。それが今平均で83Kgとなりました。これはウエイトトレーニング、そして女子マネージャーの尽力により、にぎりめしを練習後に用意できた結果でした。

これまでに紹介したこともありましたが、ラグビーのもう一つの要素がパスです。パスをどれだけ速く、どれだけ遠くへ放ることができるかが強さを決める大きな要素です。すでに京大は全員がスクリーンパスを放ることが出来ます。このことと、先のFWの体重が5Kgも増えたことが相乗効果で、今年はおそらく良い結果を報告できると思っています。

皆さんも我々と同様がんばり所が来ました。皆さんの健闘を祈っております。

リーグで旋風を起こします！

主将 竹内広悟（六甲）

高校ラグビー部のみなさん、京都大学体育会ラグビー部キャプテンの竹内です。

近年、関西大学Bリーグの各大学が推薦制度の充実によって確実に力をつけてきている中で、京大の昨年一昨年の成績は9位と満足のいかない結果に終わってしまいました。今年はそうした大学に対抗すべく、市口監督の考えるラグビーを基礎に新しい戦術を練り部員主導で頑張っています。

今は菅平合宿を終え、いよいよ秋のリーグ戦を迎えようとしているところです。チームの調子も上向きなのでこれまで積み上げてきたものを発揮し、リーグで旋風をおこしたいと思っています。期待してください！

京大ラグビー部は非常におもしろいラグビーをしている自信があります。皆さんとラグビーできることを楽しみにしていま

夏合宿でパウロ・ナワル氏のコーチを受ける

秋のリーグ戦へ向けて、チーム力をより向上させるためにのぞむ夏合宿。その内の一日に、7人制日本代表の元監督パウロ・ナワル氏にハンドリングの指導を受けた。

パウロ氏の挨拶の後、最初は短い距離でのライン回し、次にラインディフェンスの抜き方、最後にハンドリングドリルを行った。

パウロ氏の言う「use the ball」これは決定力に欠いた今春の結果を振り返ると、我がチームに

にとって必要な要素の一つである。

この日は1時間程度という短い時間でもあり、特に高レベルな練習をしたわけではないが、基本に帰ることによって得られたものがあった。

秋のリーグ戦を目前として、この日のパウロ氏の指導が勝利への一つの手がかりとなつてほしい。

ラグビーフェスティバル報告

前年に引き続き、地元ラグビースクールを招いての第2回ラグビーフェスティバルを開催し、好天に恵まれ盛況のうちに終了しました。

午前は地元ラグビースクール生への京大現役部員の指導、またスクール同士の交流戦が、午後は京大OB・現役によるバーベキュー大会が行われました。

スクール参加校は昨年の3校から5校(南京都、京都、山城、山科、城陽RS)に増え、計約150人のスクール生が参加し熱心にラグビーに取り組んでいただきました。

午後のバーベキューでは、OB諸兄と現役とが共に鉄板を囲んでの賑やかな昼食会となりました。

ラグビー人生50年「継続は力」を実感

産経新聞 2005年7月31日より転載

産経新聞の愛読者組織「ウェブ産経」の教育サロンが三十日、大阪市浪速区の難波市民学習センターで開かれ、元新日鉄釜石ラグビー部監督で京大ラグビー部の市口順亮監督が釜石時代の裏話や人生論について熱く語った。

市口監督はまず、「高校でラグビー部に入部してから現在まで、五十年間にわたってラグビーに携わってきた。

『継続は力である』ことを実感している」と述べた上で、「壁にぶちあたった時は自分の原点である新日鉄釜石のころを思いだす。十八年間の苦労や喜びが今の自分につながっている」と振り返った。指導者の立場からは「選手をじっくり育てることを心がけてきた」と話した。

また、「我慢や辛抱が足りない最近の若者を甘やかすのは大人の無責任さである」と辛口の指摘も。

最後に、「グラウンドに足を運んで、選手のぶつかる音や熱気を間近で体験してください」と参加者に呼びかけた。

[参考URL] 村上晃さん「ラグビー愛好日記」85kg未満ラグビー

http://koichi-murakami.cocolog-nifty.com/loverugby/2005/08/85_9ea9.html

日本協会「80-80ラグビー国際大会」関連記事

<http://www.rugby-japan.jp/national/inter/2005/id1595.html>

<http://www.rugby-japan.jp/national/inter/2005/id1600.html>

京都大学ラグビー部80周年記念シンポジウムのご報告

<http://www.kiurfc.com/anniversary/index.html>

2005年春 主な試合結果

日付	対戦相手	試合区分	結果
2005/4/10	大阪市立大学	練習試合	47対14
2005/4/17	関西学院大学	定期戦	12対44
2005/4/23	京大医学部	練習試合	26対7
2005/5/1	立命館大学	定期戦	12対31
2005/5/4	時計台クラブ	新歓試合	12対12
2005/5/8	慶應義塾大学	定期戦	24対28
2005/5/15	佛教大学	練習試合	24対24
2005/5/22	大阪学院大学	練習試合	17対14
2005/5/29	帝塚山大学	練習試合	52対24
2005/6/4	摂南大学	練習試合	26対41
2005/6/12	成城大学	定期戦	24対24
2005/6/19	防衛大学A	定期戦	45対22
2005/6/19	防衛大学B	定期戦	24対19

夏合宿試合結果

日付	対戦相手	試合区分	結果
2005/8/17	名古屋大学	練習試合	33対14
2005/8/18	北海道大学	練習試合	19対15
2005/8/19	一橋大学	練習試合	40対50
2005/8/20	成蹊大学	練習試合	17対12
2005/8/21	武蔵工業大学	練習試合	31対12
2005/8/22	明治学院大学	練習試合	14対47
2005/8/23	立教大学	練習試合	10対7

2005年秋シーズン予定

日付	対戦相手	試合区分	結果
2005/9/11	同志社大学	定期戦	24対26
2005/9/23	摂南大学	リーグ戦	
2005/10/2	関西大学	リーグ戦	
2005/10/9	大阪経済大学	リーグ戦	
2005/10/23	神戸大学	リーグ戦	
2005/10/30	大阪教育大学	リーグ戦	
2005/11/6	花園大学	リーグ戦	
2005/11/20	大阪産業大学	リーグ戦	
2005/11/26	大阪学院大学	リーグ戦	
2005/12/4	甲南大学	リーグ戦	
2005/12/18	九州大学	定期戦	
2005/12/23	東京大学	定期戦	

☆ お願い

・このレポートをラグビー部員、あるいはその他のスポーツに取り組んでいる生徒の皆さんに回覧して下さい。大学進学後もラグビーを続けたいとお考えの選手の参考になれば幸いです。

・もし当校に興味があったり、受験の予定がおりになる生徒さん、見事合格された生徒さんがいらっしゃいましたら、担当の白石までご一報お願いします。



K.I.U. Rugby News

www.kiurfc.com

2006/01/30 Vol .11 京都大学ラグビー部

今シーズンの最終戦はすばらしい人工芝のグラウンド(三菱養和会調布G)をお借りし、OB戦(学士ラガー東西対抗)も含め、すばらしい環境でプレーさせていただきました。(編集委員)



鋭くモールを押し込む京大FW(東大定期戦)



最終戦を勝利で飾り宙に舞う市口監督

平成17年度のシーズンを終えて

監督 市口順亮

受験生のみなさん志望校に向けて、最後の仕上げをされているときと思います。素晴らしい結果となりますようお祈りしています。

さて、京都大学のラグビー部の平成17年度のシーズンは、昨年暮れの23日の東大との定期戦で終了しました。その定期戦では、AチームもBチームも京大が勝ち、気持ちの良い新年を迎えました。

さて、平成17年度は、その前の年、4連勝中の東大に負けた日から始まりました。東大のひたむきなプレー、そして、低いタックル、イーブンボールに飛び込むセービング。これらは、その年の京大に欠けているものでした。さらにラインアウト・モールで点が取れないのに、相手には点を取られる。このリベンジを誓ったのが、平成17年度の開始でした。

竹内主将、岩津副主将のもと、今シーズンはこれまでの練習方針を改め、FWとBKSが分かれた練習を増やすことにしました。これは、すでにスピンプラス等の基本プレーが身に付いていたから出来たのです。

結果として、春は3連敗中であつた防衛大に快勝。この3年間やられ続けた相手のモールドライを阻止しての勝利でした。

秋シーズンに入り、初戦摂南大学に快勝。しかし、リーグ戦は、力が及ばず、2年続いた下との入れ替え戦に出ることはなかったのですが、10チーム中8位となりました。

リーグ戦終了後、シーズン最後を飾る九大、東大との定期戦に向け、もう一度、シーズン初めの思いを部員一同確認しあいました。その結果として、2連敗中であつた九大戦の快勝そして、先の東大戦に繋がったのです。

京都大学ラグビー部は決して強いチームで

はありません。しかし、目標に向かって一致団結出来る強さがあります。そんな素晴らしいラグビー部です。

是非、京都大学ラグビー部を頭の一角に置いて頂けるようお願い致します。

様々な人間が集るクラブ

主将 竹内広悟(六甲)

みなさんこんにちわ。2005年度主将を務めた竹内広悟です。大学受験を間近に控えて日々努力されているか、あるいは進学校も決まりほっと一息つかれている頃でしょうか。まだ入学もされていないので気の早い話かも知れませんが、大学生活を充実させるための一つの選択肢として京都大学ラグビー部を自分の経歴とともに紹介したいと思います。

僕は中高一貫の六甲中学でラグビーを始めました。ラグビーは大好きだったので進学校という事もあり、高校3年の最後までラグビーを続けることが出来ませんでした。1年浪人した後京大に合格し、高校時代不完全燃焼だったラグビー部の門を叩いたわけです。入学後気付いたのですが部には様々な環境の下でラグビーをしている人間がいるようです。勉強ばかりしている人、バイトを週5回入れている人、僕みたいなプー太郎。異なった生活スタイルですが、毎日5寺には皆グラウンドに集合し、ラグビーを楽しみ、最大の目標であるリーグ戦での勝利に向けて一丸となつて頑張っています。

受験生の中には学業、バイトなどに専念したいという人もいますが、京大ラグビー部はラグビーとの両立が決して不可能ではないですし、両方頑張ることに意味があるのではないのでしょうか。リーグ戦の他校が推薦制度によって強化を図る中、勝つことが難しくなっていますが、ラグビーに対する熱い気持ちをもつ新入生がチームを支える志士となってくれることを期待しています。

「考えて」強くなるラグビー 副将 岩津宇洸(京都成章)

みなさんに、京都大学ラグビー部について僕の思うところを紹介したいと思います。

京都大学ラグビー部は創部80余年の伝統あるラグビー部です。そのため、毎年最終戦となる東京大学を始め、同志社大学、慶応大学などとの定期戦が行われます。特に、東大のような古くからのライバル校との、このような定期戦での交流は僕のラグビー生活にとっても意味のあるものとなり、またその試合に出場することで歴史あるラグビー部の一員となれたことを誇りに思うようになりました。これこそが京大が持つ他の大学とは異なる魅力だと思います。

僕は中学からラグビーを始め、高校は京都成章高校に入りました。僕が大学でラグビーをしようと決めたのは、もちろんラグビーが好きだから、ということもありましたが、高校で尊敬する監督の元でラグビーをした経験を無駄にはしたくないと思ったからです。京大は、監督が考えた優れた理論をもとに、学生が主体となって考えるラグビーをしています。だから僕にとって京大ラグビー部は本当に魅力のあるものでした。ぜひとも、みなさんにもこのラグビーに触れて欲しいと思います。ラグビーがうまくなるには練習することも大事ですが、僕は「考える」ことが一番大事だと思います。京大ラグビー部は学生主体なので、一人一人が「考えて」ラグビーをしています。僕自身、この四年間で本当にラグビーがうまくなりました。京大ラグビー部に入って本当に良かったと思っています。

しかし、京都大学に入学するのは他大学に比べて難しいと思うかもしれませんが、必要なのは「京大に入る」という信念だけだと思います。信念さえあれば後は努力するだけです。努力すれば必ず道は開けます。この文章を読んでみなさんが京大ラグビーの魅力を少しでも感じて頂けたら嬉しく思います。

私たちと一緒にラグビーをやりませんか？

次期主将 北原 広大(福岡)

私たち京都大学ラグビー部は学生主体で創造性豊かなラグビーを目指しています。京大はラグビー強豪校出身の部員はほとんどいません。そのため他大学と比較すると体も小さく、試合ではその弱みをつけこまれ苦戦を強いられます。しかしながら、他大学に対してどこか優位性を見出し、そのことを徹底して戦っています。FW・BKが一体となってグラウンドをとことん狭しと走り回り、積極的にボールを動かすというのが京大のスタイルです。やっていて実に楽しいラグビーです。去年はBリーグ8位と辛酸をなめた結果となりましたが、今年はさらにプレーに磨きをかけ、Aリーグ昇格という目標のもと部員一同日々励んでいます。

京都大学に入ることとはそう容易なことではありません。私自身も1浪をしてやっとの思いで運よく入学することができました。その受験戦争の苦しさを重々承知した上で、私は京都大学ラグビー部をおすすめします。それだけの価値が京大ラグビー部にはあると思うのです。ぜひとも京都大学を受験、入学してください。そして、京大ラグビー部を一目だけでもいいのでぜひ見に来てください。すぐに京大ラグビー部がいかによいものか分かるはずですよ。みなさんを魅了できるだけの自信が、実際に魅了された私にはあります。ラグビー好きのあなた、ぜひとも私たちと一緒にラグビーをやりましょう！！ラグビー好きの部員たちが皆さんを待っています。近いうち、みなさんと一緒にプレーできることを楽しみにしています。

2005年秋 主な試合結果

日付	結果			試合区分
9/11	京都	24-26	同志社	定期戦
9/23	京都	50-34	摂南大学	関西Bリーグ
10/2	京都	22-31	関西大学	関西Bリーグ
10/9	京都	12-31	大阪経済	関西Bリーグ
10/23	京都	22-21	神戸大	関西Bリーグ
10/30	京都	0-39	大阪教育	関西Bリーグ
11/6	京都	21-50	花園大学	関西Bリーグ
11/20	京都	8-38	大阪産業	関西Bリーグ
11/26	京都	52-15	大阪学院	関西Bリーグ
12/4	京都	15-17	甲南大学	関西Bリーグ
12/18	京都	26-24	九州大学	定期戦
	〃B	12-31	〃B	
12/23	京都	34-19	東京大学	定期戦
	〃B	41-14	〃B	

卒業生進路



☆ お願い

- ・このレポートをラグビー部員、あるいはその他のスポーツに取り組んでいる生徒の皆さんに回覧して下さい。大学進学後もラグビーを続けたいとお考えの選手の参考になれば幸いです。
- ・もし当校に興味があったり、受験の予定がおありになる生徒さん、見事合格された生徒さんがいらっしゃいましたら、担当の白石までご一報お願いします。





クラブ便り

京都大学ラグビーフットボールクラブ

平成18年度 第1号 3月30日発行

ご挨拶

会長 和田 文男(S38)

前略、「京都大学ラグビーフットボールクラブ」会員に於かれましては日頃現役に對し物心両面のご支援を賜わり厚く御礼申し上げます。ご高承の通り去る2月25日京都で開催されました評議員会におきまして、上記名称の変更を含め組織・運営を一新致す事が決定されました。

今回の改革の趣旨はクラブの目的である「親睦と現役の健全な育成への寄与」をバックボーンに、社会・大学を取り巻く環境の変化に對し、クラブの発展、維持可能な組織運営にしようとするものであります。特にクラブの運営の中心を中堅の執行幹事に託し、多くの中堅若手のOB会員が運営に関与出来る時に目一杯参画してもらい、順次交替し乍ら多くの方々へ現役への直接的な支援をお願いしようとするものであります。

一方で、本クラブ全体の健全なガバナンスを良識・常識と伝統を踏まえた年代層の幅広い15名の評議員で行なうのも特色の一つであります。又、会長・副会長・会計監査役・執行幹事などの執行の中心となる役職の任期も明確化致し、クラブの活性を維持しようとするものであります。

更に大きな変化と致しましては、13シーズンに亘って、殆ど一人で現役の指導をお願いしてまいりました、市口氏(S39年卒)が監督を勇退され、新たに湯谷氏(S47年卒)が就任される事も評議員会で承認されました。市口前監督には長い間ご自分の事業を犠牲にして現役諸君を指導され、関西大学ラグビーBリーグの中堅として維持頂いた事に対し、指導を受けた現役諸君は勿論のこと、各年代層の全てのOBより感謝の念が寄せられております。

湯谷新監督に對しましては、ご自身の高等専門学校での豊富な指導経験をベースに、新しい観点から現役諸君の良き指導者としてのご活躍を大いに期待致しているものであります。

会長を仰せ付けられました小職は前体制からの継続となりましたが、あくまで新体制がスムーズに船出致し、クラブ全体として所期の目的に向かって活動致すリード役としての機能を果たし乍ら、出来る限り早い時機に若返りをさせる所存でございます。

最後になりましたが、クラブ会員に於かれましては出来る丈観戦を頂くと共に、クラブ会費の納入を以て現役諸君と新体制をご支援賜りますよう会長として心からお願い申し上げます。ご挨拶と致します。

監督就任挨拶

監督 湯谷 博(S47)

宇治グラウンドでは、新チームの練習が始まって早くも半月余りがたちました。30年前には貧弱だった道路沿いの松並木が大木になり、座って試合を観戦できた斜面の芝生がすっかり雑木林に変わっても、ラグビーに対する部員達の情熱は何ら昔と変わるものではありません。春先からの悪天候にもかかわらず、部員達は毎日熱心に練習に励んでいます。

昭和47年卒の私達のチームは、幸いにしてAリーグ3位の成績で大学選手権に出場、慶応大との定期戦にも19年ぶりに勝つことができました。素質に恵まれない私達が、この様な素晴らしい経験ができたのも、星名先生を指導者とする京大の優れたコーチングシステムのお陰であり、深く感謝している次第です。海外からの情報が乏しかったその当時、星名先生を通じてもたらされた質の高い情報は、京大の他には僅かのチームのみが知り得るのであり、それが京大の強さの秘訣でした。

時が移って海外との交流が活発になり、今や京大だけが最新情報を独り占めできる時代ではなくなりました。そういった事情が、昨今の京大の相対的な地位低下を招いている要因にもなっています。チーム力強化のためには、京大内外を問わずあらゆる経路を通じて積極的に質の高い情報を取り込まなければなりません。まずは、新たに編成された強化委員会とも連携して強化を進めて

参ります。現場の指導体制としては、昨年度にコーチ・現役として活躍された岡市・岩津の両氏にコーチを、また外部からアドバイザーとして旧知の三菱自工前監督竹森氏に応援をお願いしました。竹森氏は海外のコーチングにも精通している経験豊かなコーチです。

指導方針としては、まず個々の選手の基本スキル、基礎体力の強化に重点を置きます。しっかりとした基本に裏打ちされた自由奔放なラグビーを、秋のシーズンにはお見せできるよう努力して参ります。先輩の皆様方には、どうぞお気軽に宇治グラウンドにお越しいただき、チームの方針をご理解いただいた上で、様々な有益な情報や叱咤激励を賜ります様お願い申し上げます。また、その様な環境の中で、近い将来、若くて有能なコーチが次々に現れ、現場を指導される様になることを願っています。

第一回評議員会開催概要

京都大学ラグビーフットボールクラブ(KIURFC)第1回評議員会が2006年2月25日京都館に於いて開催されました。評議員12名と各役員候補者、新旧現役4役の総勢30名が参集され、各役員指名の後、案件の審議、活発な議論が行われました。

和田会長のご挨拶、湯谷監督の所信表明に引き続いて代表幹事による「今年度の重点課題と取り組み方針」や、総務委員長、組織委員長、強化委員長からそれぞれの委員会の活動計画について説明があり、評議員からの意見表明も活発に行われました。会議前半部分では組織委員会、強化委員会の活動計画に関して、現役の練習環境改善を目的とした京都市内の練習場所確保、アメリカンフットボールやサッカーが主導権を持つ農学部グラウンド使用などについて、ラグビー部が宇治グラウンドへ移った経緯にも言及した意見交換が行われました。チームの強化に関しては、授業出席負荷の高まりや宇治への交通事情など現役を取り巻く環境変化を再認識しつつ、監督、現役、強化委員の連携のありかた、目指すべき目標、リクルート強化の重要性などが議論されました。組織委員会の活動計画に関して、名簿やメンバーリストのデータ精度向上、会費納入率の向上、リーグ戦、定期戦、各種行事への動員促進を図るため、昭和50年卒業以降に学年幹事制度を導入することが報告されています。また、今回OB組織を改編しKIURFCを発足しましたが、平成年代卒業のOBにはその趣旨、組織運営が十分理解されていないという指摘があり、再度周知を図っていくことになりました。

会議後半にはKIURFC会員資格、会費徴収基準の見直し、平成17年度収支決算および平成18年度予算案が審議され原案が承認されました。平成17年度については、約485万円の会費収入があり、次期繰越金を除く支出は550万円程度が見込まれるとの報告を致しました。平成年度決算は、後日会計監査の監査を経て正式に承認されることとなりますが、平成18年度については、会費収入を550万円と見込み、次期繰越金を除く支出を今年度並みの550万円程度とする予算が承認されました。

会費徴収基準の見直しは、会費納入率の向上を目的として1口5000円の会費を年齢別に口数を変化させて納入していただくというものです。大学院生などは1口、卒業4年目までの社会人2口、5年目以降59歳まで4口、60~64歳まで2口、65歳以上は任意とすることが検討されています。

平成18年度予算では、昨年度同様300万円の現役補助金支出とともに、新入部員勧誘活動のための現役補助金、名簿作成費用、ホームページ再構築などのための支出が提案されました。平成17年度の現役補助金使途説明と使途項目毎に補助金によって賄われている比率についても紹介がありましたが、平成18年度は現役強化のための施策に資金をどのように重点配分するかの方針が煮詰まっていないことから大枠の承認に留まり、具体的な実行案については大規模な支出となる名簿発行や各委員会の詳細な事業計画とあわせて執行幹事会で今後方針決定していく

こととなります。

また、会費の口座引き落としに関して、現在の年2回の引き落とし（7月、12月）では現役補助金の支出も年2回となり、現役の会計が活動資金不足となる時期が生じているため、年1回の引き落としとすることが検討されていることについても報告されました。

第1回評議員会は現役新旧主将、副将、主務、会計のコメントを以って閉会となりました。

第1回評議員会の資料、議事メモはホームページに掲載しておりますが、今回参加されなかった皆様とも今後いろいろなチャンネルを通じたコミュニケーションをはかり、本クラブの発展を期して参りたいと存じます。積極的かつ前向きなご意見、ご協力をお願い申し上げます。

役員一覧

会長	和田 文男(S36)
会計監査	中村 健輔(S45)
代表幹事	田代 芳孝(S48)
執行幹事 強化委員長	石田 徳治(S48)
執行幹事 組織委員長	白石 良多(S54)
執行幹事 総務委員長	瀬戸口 哲夫(S55)
執行幹事 会計担当	峰本 耕治(S58)
監督	湯谷 博(S47)

新3役の紹介

主 将：北原広大（福岡・WTB）

副主将：油田 澄（茨木・LO）

主 務：柳本大介（六甲・HO）

新キャプテン挨拶

主将 北原広大

平成18年度の主将を務めさせて頂くことになりました北原広大です。

昨年は、入部以来負け続けていた防衛大学や九州大学に勝つことができたなど、私としては充実した1年間となりました。リーグ戦につきましては、8位と残念な結果に終わりましたが、一つ一つ試合を振り返ってみますと、あと少しというところで勝ちを逃した試合も多く、徐々にではありますが確実にチーム力が向上していると感じることが出来た年でもありました。

今年はBリーグ制覇をチームの目標とし、積極的にボールを動かす、いわゆる展開ラグビーを目指しています。京都大学はどうしても他大学に比べて身体的に劣り、他のチームと同じラグビーをしてしまつては、活路を見出すことはできません。ですので、私たちはポイント近くの非常に圧力のあるところ攻めるのではなく、より圧力のないところ攻めるために展開ラグビーを目指そうとしているのです。どの選手もフィールドを走り回り、積極的にボールを動かすことで、相手チームを翻弄したいと思います。同時に、京大ラグビーの伝統である、観戦している人も大いに楽しむことができる魅力あるラグビーをやりたいと考えております。

現在は目標を達成するため、個々の基本スキルの向上に重きを置き、日々練習に励んでおります。やはり何よりも基本が重要であり、私たちが目指すラグビーもしっかりとした基本スキルの積み重ねによって実現されるものであります。そしてその積み重

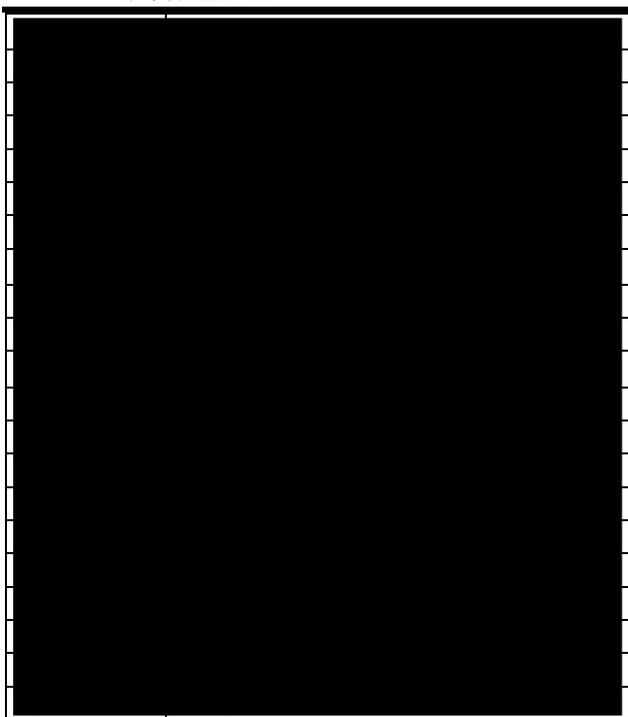
ねが秋のリーグ戦の結果につながっていくのだと思います。主将といった任に就くのは初めての経験ですので、これからのことについて多少の不安はありますが、自分を信じ部員を信じ邁進していきたいと考えております。

最後になりましたが、OBの皆様、日頃のご支援ありがとうございます。秋には素晴らしいチームを披露できるように精進していきますので、これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

春のスケジュール

日付	対戦相手	グラウンド	K.O.	試合区分
4/15(土)	大阪大学	宇治G	14:00	練習試合
4/23(日)	関西学院大学	関学G	12:00	定期戦
4/30(日)	慶應義塾大学	慶應G	14:00	定期戦
5/4(祝)	時計台クラブ	宇治G	未定	新歓試合
5/7(日)	立命館大学	立命G	未定	定期戦
5/13(土)	大阪市立大学	宇治G	未定	練習試合
5/21(日)	摂南大学	摂南G	未定	練習試合
5/28(日)	大阪経済大学	未定	未定	練習試合
6/4(日)	防衛大学	防衛G	未定	定期戦
6/11(日)	大阪府立大学	宇治G	未定	練習試合
6/18(日)	成城大学	宇治G	未定	定期戦

ラグビー部卒業生進路



※関東在住OBの皆さまへ：4月30日の慶応定期戦は日吉でのゲームとなりますので、定期戦観戦後、関東支部（旧関東部会）懇親会を実施する予定です。詳細は改めて連絡いたしますので、当日ご都合のよろしい方はご予約ください。



クラブ便り

京都大学ラグビーフットボールクラブ

平成 18 年度 第 2 号 5 月 31 日発行

新入部員あいさつ

遠藤進一 (旭丘) 未経験 BK 3 回生

3 回生になった今春、入部した。もともとラグビー観戦が好きだった。昨年英国に 8 か月間留学し、自分のこれまでの人間関係や視野が狭いことに気づいた。殻を破り、可能性を試すために何かやってみよう、と考えるようになった。「大学時代を逃せば、2 度とチャンスはない」と思い、やらないで後悔するのは嫌だと入部を決意した。今は、ついていくのが精一杯。体が潰れたら、それはそれで仕方ない、という覚悟。不安も大きかったが、部全体が温かく迎え入れてくれて、自分の選択は間違っていない、と感じる。やるからには、来年 A チームでプレーできるように頑張りたい。

竹賀章悟 (六甲) 2 回生 170 センチ、73 キロ

小学校からラグビーはやっている。アルバイトばかりで社交性に欠ける 1 年間で過ごし、腐りきった生活を変えるために、2 回生になったこの春、入部した。入ってみて、楽しいところだし、歓迎されてよかった。自分のプレーの特徴は、コンタクトからのドライブで進む努力をするところ。取りあえずは体力、筋力、パス能力をつけて、A チームに入ることが目標だ。

大淵哲 (あきら) (明治学園) LO 185 センチ、94 キロ

小学 6 年からラグビースクールに通った。高校にはラグビー部がなかったので、2 年生の時、友達とラグビー部を作った。ただ、部員が少なかったため、10 人制でプレーしていた。大学に入ったら体育会に入ろうと大体決めていた。まずは 15 人制に慣れたい。早いうちにレギュラーが取れるように頑張る。法学部なので、空いている時間には勉強して、司法試験にも挑戦したい。

高橋一誠 (北野) FL 167 センチ、67 キロ

大学は速さが高校と違う。体の大きさは思ったほどではない。高校時代はディフェンスの練習ばかりだった。大学に入って、ラグビーを続けるかどうか迷ったが、やっぱりラグビーが好きだから、体育会でやることにした。スタミナを取り戻して、走り回る自分の特徴を生かしたプレーをしたい。

長谷川広樹 (灘) FB

大学では、ラクロスか何か新しいことをやろうと思っていたが、先輩が熱心に勧誘してくれたので、入部を決めた。高校と比べて、とにかくスケールが 1 ランク上。まだまだリズムに乗れていないと感じる。自分のプレーでチームの勝利に貢献できるよう、頑張りたい。

宮田朋弥 (麻布) SH 167 センチ、62 キロ

中学からラグビーはやっている。高校はあまり強くなって、しかも 10 人制だったので、大学では 15 人制でやりたいと思っていた。接点での強さ、うまさが高専までと違うと感じる。浪人していたので体力が落ちており、今は練習がすぐきつい。同じポジションに 4 回生が 2 人いるが、今シーズン中に追い抜けるよう、フィットネスやパワーを伸ばしたい。どんな時でもボール捌きができるよう、プレーの確実性を上げ、FW の信頼を得たい。京大のラグビーは展開型なので、SH としてはやりがいがある。

守谷隆一 (海城) FL 164 センチ、70 キロ

先輩に誘われて入部した。高校よりプレー、展開が早い、体力、筋力をつけて、走りまわけるフランカーになり、レギュラーを取りたい。

橋本八洋 (洛南) 未経験 174 センチ、73 キロ

前回 W 杯決勝で、ウィルキンソン (イングランド SO) のキックを見てラグビーをしてみたいと思っていた。合格後、勧誘を受けた際に DVD を見て入部を決めた。立命館大でラグビーをしていた父の影響も受けた (同志社香里高校 2 年の弟はウイング)。練習はきつ、ディフェンスの仕方やサインなどまだわからないことが多いが、非常に充実している。1 日も早くレギュラーを獲得したい。始めたばかりでまだ足りないところばかりなので、日々練習を頑張っている。

光永誠 (東京学芸大付属) 170 センチ、68 キロ

中学・高校とラグビーに憧れていたが、クラブがなかったため、大学で始めようと思った。入ってみて、部の雰囲気は本当によく、これからこの京大ラグビー部でプレーできると思うとワクワクする。まだまだラグビーに慣れていないが、フロントローができるぐらいに心と体を強くしたい。

コーチ陣あいさつ

竹森弘泰 (アドバイザー)

基本スキルのレベルアップが当面の課題だ。地区の学生リーグのレベルでは、基本スキルのパフォーマンスの差こそが、上位と下位を分ける。強いプレッシャーの下でもミスなくハンドリングやコンタクトを行う重要性和必要性を理解し、習得することを選択者にアドバイスしている。

「練習量=質×時間」で表すことが出来る。すなわち、時間は増やさなくても、質を高めることで、練習量を現在の 2 倍以上に引き上げ、他のチームに劣らないまでに確保できる。既にグラウンドでも具体的な練習の進め方を指導し始めているが、その内容を持続的に徹底し、チームに定着させることで、必ずや大きな成果が得られると確信している。

大阪府立高専から大阪体育大学へ進み、1987 年に三菱自動車入社。同社の京都ラグビー部でプレーした。現役時代のポジションは主に No.8 で、ロック、FL でも公式戦出場。学生時代は大学選手権に 2 度出場、日本学生代表にも選抜された。社会人では全国大会に 2 度出場、日本選抜と関西代表を経験。引退後は同チームのヘッドコーチを経て、一昨年まで 6 年間監督を務めた。昨年 4 月に金沢へ転勤となり、現在は北陸三菱自動車部品販売㈱の社長。当初、湯谷監督からコーチ就任の要請を受けたが、練習に参加できる頻度を考慮して、アドバイザーとしてスタッフに参画した。

岡市光司（コーチ）46歳

今年はまだ1度もチームとしてベストの状態です。試合に臨んでおらず、現段階では戦力分析云々は言えない状況ですが、FWは昨年以上には仕上がりが、BKもやり方次第で得点能力が向上すると思う。秋には昨年以上の成績を残すことができるだろう。現段階では上位チームと差があるのは確かだが、埋められない差ではない。

京大ラグビー部は、私の現役時代もそうだったように、学生自身が考え、創意工夫を凝らし、自ら律し行動する「自主・自律した集団」であってほしい。あくまで主役は学生。彼らが本気で「より強くなりたい」と思える環境づくりに取り組み、チームの課題や方向性について、自分の経験や知識からヒントを与えていきたい。

枚方高校でラグビーを始める。一浪の後、大学でもラグビーをやりたくて当時Aリーグの京大を目指し、ラグビー部に入部。高校時代は近畿大会の大阪予選優勝。大学4年生の時に部史上初のBリーグ降格。現役時代は良い結果を残せずに悔しい思い出の方が多く、やや不完全燃焼気味。そんな思いを学生にはさせたくないと思っている。社会人になってラグビーから離れていたが、40代に入ってシニアラグビーをはじめ。昨年度より京大ラグビー部のFWコーチ。熊谷組入社以来22年間現場勤務で、本業は「コーチ」ではなく「(現場)監督」。

岩津宇洸（BKコーチ）

今年のBリーグは、春のオープン戦の結果から見ると上位と下位の2グループに分かれ、京大は現在、下位グループに属していると思う。ただ、京大は怪我人や就職活動等でベストメンバーが組めない状態だった。上位グループに入り込む可能性は十分にあるが、厳しい言い方をすると、「Bリーグ優勝」という今年の目標を達成できる可能性は、今のままではほぼゼロだ。

現在の課題は「一対一で負けない」こと。それができなければ話にならないし、逆にできるようになれば、Bリーグ優勝は見えてくる。秋シーズンまで、まだ4ヶ月ある。他のチームに比べて京大がこれからどこまで成長できるか。他のチームと同じようにやっているのは、いつまでたっても差は縮まらない。目標達成は選手たちの努力にかかっているが、並大抵のことではない。選手たちの努力を厳しい目で見守り、努力の向かうべき先をアドバイスしていきたい。

京都成章高校出身。現在、京大大学院工学研究科分子工学専攻1年生

春シーズンの試合結果と今後のスケジュール

日付	対戦相手	グラウンド	結果・K.O.	試合区分
4/15	大阪大学	宇治	70-7	練習試合
4/23	関西学院大学	関学	0-58	定期戦
4/30	慶応義塾大学	慶応	10-54	定期戦
5/4	時計台クラブ	宇治	0-25	新歓
5/7	立命館大学	立命	0-78	定期戦
5/13	大阪市立大学	宇治	0-10	練習試合
5/21	摂南大学	摂南	7-88	練習試合
5/28	大阪経済大学	大経	0-26	練習試合
6/4(日)	防衛大学	防衛	13:00	定期戦
6/11(日)	大阪府立大学	宇治	14:00	練習試合
6/18(日)	成城大学	宇治	14:00	定期戦

8月16日～24日 夏合宿

委員会報告

《組織委員会》S50年卒以降に学年幹事制度を導入。学年幹事を通じて連絡先の確認と17年度会費未納入者への声かけを行ない、少しずつ成果が上がっている。名簿とMLの管理を一元化しデータ精度向上とメール連絡による効率化を図っている。2ヶ月に一回のクラブ便りの発行を3月から開始し、インターネット利用者にはブログによる資料公開を始めた。各地域における活動については、関東地区中桐委員(S56)関西地区石脇委員(S56)に担当をお願いし、関東では慶応定期戦の後に懇親会を開催した。《強化委員会》現状の京大の課題を具体的に抽出して、タイムリーな支援を行うことを目的に試合のDVDを現役の主務の柳本くんにも協力をお願いして、強化委員会のメンバーに複数のルートでできるだけ遅れなく送付する体制を作った。このDVDを分析して、委員会のメンバーがまずはメールを使って意見交換してその内容を監督団ともディスカスすることを開始したが、印象としては現場で試合を見ることも重要だが分析という観点からはDVDは有用だと感じている。

関西地区OB懇親会 開催のお知らせ

日時 6月16日(金) 19:30～
場所 梅田 (会場未定)
会費 5000円程度。

会場決定後、改めてメールリストで案内します。
郵便でこの案内をご覧の方は、申し訳ありませんが関西地区担当委員にご確認ください。

関西地区担当 石脇幹也(S56) 携帯 090(3721)1001



クラブ便り

京都大学ラグビーフットボールクラブ

平成 18 年度 第 3 号 7 月 31 日発行

春シーズンを振り返って 湯谷溥監督

チームとして選択したい戦略や戦術があっても、選手の体力や体格、素質、スキルレベルを対戦相手のそれと斟酌する中で、取りうる戦法は自ずから限定される。こういった過程で、例えばAリーグのチームならAリーグなりのチームスタイルが自然と形成され、それがその大学の伝統として定着することになる。

京都大学はBリーグに所属しているが、幸いにして強豪伝統校との定期戦が組まれており、そこで戦略、戦術やスキルについて厳しいチェックを受けることができる。今春の関学、慶応、立命と続いた3連戦では惨敗を喫したが、一方ではチームが当初目指した戦法とスキルについて、選手自ら真剣に考え直す機会を与えてくれた。こういった試合を契機に当初の方針を修正しながら戦力を強化し、春の最終戦ではある程度の成果を上げることができたと思う。怪我の多発、少ない新入生といった不安要因があり、秋のリーグ戦、更には翌年度以降について予断を許さない厳しい状況にあるが、当初の目標を達成させたい。それにはやはり、強いプレッシャーの下でも正確にプレーできるような基本スキルをレベルアップさせることが鍵になる。

マネジャー陣から

柳本大介 主務 4年

本来は主務がやるべきOBへの試合案内やレセプション会場の確保などを、近年は女子マネが分担し、びっくりするくらい素早く仕事してくれる。会計関連も担当(志野)が全てやりくりしてくれる。主務としての仕事は、試合相手との調整、農学部グラウンド使用時の各種調整、書類作成ぐらいだ。

伝統は力。現役に大きな活力を与えてくれる。最も効果が見えやすいのは、意地汚いと思われるかもしれないが、数字で見えるお金だと思う。OBからの補助は収入の大きなウェイトを占めるので、できるだけ早い会費の納入をお願いするとともに、現役としては有意義に使いたい。

宇治グラウンドと、グラウンドを取り巻く設備の状態はかなりガタが来ている。特に雨の翌日のぬかるみはひどい。来年は、京大で近畿国立大の大会が開かれ、宇治グラウンドも会場になると思われる。それまでに整備をお願いできれば。

選手としては、今年から新しいポジションに取り組んでいるので、早く慣れることから始めたい。春シーズンは自分のことで精一杯で、周囲に注意が向かなかったり、迷惑をかけたりにしてしまった。秋には改善したい。

春摘由紀子 4年

春シーズンは、上回生・主力選手中心にけがが多かった。学生スポーツの弱点であるメディカル面のサポートを今以上にどうできるのか、という問題が提起されたシーズンだった。夏合宿は、色々な意味で密度の濃い約1週間。技術上達、チームの結束強化の反面、けがのリスクや心身疲労の恐れもある。けがの防止や、部員が気持ちよくプレーに集中できる「環境作り」でチームに貢献したい。学生スポーツはOBの支援で成り立っている。直接グラウンドにお越しくださる方々から、また、遠方で来られない皆様からもインターネットなどを通じて届く声援が、選手の励み。今後とも声援よろしくお願ひします。

川畑友紀子 3年

高槻市の医療系大学で理学療法を学んでいる。今年は授業のためにほとんど練習に参加できていないが、部員や他のマネジャーに支えられながら何とか続けている。部員が少しでも楽しく活動できるように、大学で学んでいる事を活かし、メディカル面のサポートの充実に取り組んでいきたい。春は故障者も多く苦戦が続いた。秋のリーグ戦には万全の状態に臨める様に努めたい。

田中崇江 3年

春はけが人が非常に多く、部員同様マネジャーにとっても辛いシーズンだった。何の力にもなれない歯痒さを感じ、その中で「自分はどう支えになっていけるか」と考えさせられることの多いシーズンだった。人数が揃わない日も多いが、マネジャー1人ひとりがクラブのために自ら考え、自ら動ける機動力を持って臨みたい。きめ細やかな目線で部活を見つめ、貢献できる強みも持っている。部活・部員にとって何が必要かを感じ取り、すぐ行動できるように特に気を配っているつもりだ。勝つ喜び、負ける悔しさを部員のすぐ傍で共に味わえるのが醍醐味だ。

宮田留衣 2年

マネジャーを始めて早くも1年が経過した。春シーズン初めて全ての試合を見届けたが、試合を重ねるにつれてチームが成長していくのが目に見えてわかり、一丸となって相手にぶつかっていく姿がとても印象的だった。気を配っていることは、常に部員の気持ちを考えて行動することと、笑顔を忘れないこと。ただの雑用係ではなく、チームの一員として一緒に戦っているという意識が大切だと考えている。そうして得られた勝利の喜びは計り知れないし、マネジャーをしていて本当によかったと思う瞬間だ。夏合宿から秋に向けて、身体的にも精神的にも部員を支え、運営がスムーズにいくよう日々努力していきたい。

松本佳寿代 1年

6月に入部した。夏合宿までに部員とラグビーを覚え、部員が何をしたいかと思っているかを考え、細かいところまで気を配れるようになりたい。色々な年代の人と話ができ、とても楽しい。部員には、私が出来ていないこと、そしてラグビーのことを教えてほしい。

部員の声

油田澄 副主将 4年

春シーズンは、よい結果とは言い難いシーズンだった。点が取れない試合が多かったのは、われわれ4回生のゲームプランの甘さが大きな原因だ。春はチームプレーよりも個々の力をつけることに重点を置いたが、もう少しトライを取るイメージを統一すべきだったと反省している。FWの一番の問題は、セットプレーが安定しなかったこと。ラインアウトからのモールでトライを取ることを目標としたが、達成できたとは言えない。チーム全体としては、湯谷新監督とのコミュニケーション不足を感じた。この反省を踏まえ、秋シーズンに向けて、しっかりとチームのイメージをまとめ、部員全員に染み渡るようにしたい。FWはセットプレーの安定はもちろん、モールやサイド攻撃の練習もしていきたい。

船瀬悠太 4年

あっという間の春シーズンだった。個人スキル、フィットネスの向上、体作りを目標に掲げ、日々の練習に取り組んできたが、立命、摂南など、体の大きい相手には接点で優位に立たれ、思うようなゲーム展開にできなかった。接点で当たり負けず、早い球出しができれば、京大の強みをもっと出せる。秋に私立強豪校を倒すため、夏はその点を強化したい。

個人としては、春シーズンは多くの試合に出場し、改めてラグビーの難しさ、楽しさに気づいた。セットプレーなどFWとしてまだまだ未熟なところが多く迷惑もかけたが、試合勘は取り戻してきている。うまくできない時には必ず理由があるし、逆に練習の成果を発揮できた時こそ、真の楽しさを見出だすことができた。ラグビーは勝たなければ楽しくない。筋力とフィットネスを向上させ、試合で活躍し勝利に貢献したい。すべての試合に勝つために、そしてBリーグ制覇という目標のために、もっと激しく、チーム一丸となって突き進んでいきたい。

今年度新歓を担当したが、OBのおかげで例年とは違った新歓活動ができた。目標数には届かなかったが、将来有望な8名が入部し、今後が楽しみだ。

おそらく、自分のラグビー人生最後のシーズンになる。悔いのないように、そして秋に結果を残せるよう、部員全員で熱いラグビーをしたい。

前田賢謙 4年

個人的にはケガもあり少し思い残すことのある春シーズンだった。チームとしては関学、慶応、立命に完敗を喫しどうなるかと思っただが、摂南戦あたりから調子が上がりはじめ、最終戦の成城に勝つことができ、いい形で春シーズンを締めくくれたと思う。それもひとえに関学戦、慶応戦、立命戦の敗戦を教訓に、チームの方針、練習内容の再考、変更を決断したキャプテン、副キャプテンによるところが大きい。これからもこれら首脳陣を全力で支えていきたい。

小林晋 3年

春はけがが多く、あまり有意義なものとは言えなかった。集中力を欠いた試合もあった。しかしシーズン終盤になるとけがから復帰する人が多く、攻撃のイメージを共有できる場面があった。これを夏以降具現化させ、秋にはすばらしいチームに仕上げたい。そのためには、FWを筆頭にBKもブレイクダウンを強くしなければいけない。オフ、そして8、9月に筋トレに励む必要がある。

大脇克也 2年

春はけがが多く、試合にも勝てず苦しい状態が続いた。しかし、後半2試合ではいい形でのトライもいくつかあった。BKはいかにミスを減らすかが秋までの課題だ。チームとして1つでも多く勝つのはもちろんだが、個人としての今年最大の目標は、これから戦う全チームのスタンドオフに勝つことだ。

今井英之 2年

春は、けがが多く苦しい試合が多かった。その分、試合

に出たメンバーは成長する絶好の機会だったし、選手層を厚くすることにもつながったと思う。しかし、チームプレイを合わせる時間が少なく、FWとBK間の連携もまだまだ。夏に強化していきたい。そんな状態ではあるが、春シーズン最後の成城戦ではトライを重ね、攻め勝った。練習を重ねれば爆発力のあるチームになる可能性を秘めている。一方で、DFはまだ甘い。夏にしっかりと練習を積み、課題を克服して、成果が秋に発揮できるようがんばりたい。

菅平夏合宿 日程

下記日程で夏合宿を行う予定です。現役との交流を深め、応援・指導いただければと思います。

現役 B チームと OB の交流試合（19日）に出場いただけるOB、特に現役との試合に堪える若手を募集します。

期間：8月16日～24日

宿泊先：菅平・佐久山荘

16日 移動日

17日 名古屋大学 (AAB)

18日 北海道大学 (BB)

19日 成蹊大学 (AA)、京都大学 OB (B)

20日 名古屋商科大学 (AA)

21日 一橋大学 (BB)

22日 未定 (BB)

23日 東京農業大学 (AA)

24日 移動日

合宿参加人数を集約するため、参加していただける方は参加者名、参加日程（宿泊日）、宿泊先（手配された方）、連絡先（メールアドレス、電話番号など）を瀬戸口（S55卒）までご連絡ください。

<mailto:tetsuo-setoguchi@osakagas.co.jp>

携帯 090-1891-4894

春シーズンの結果

日付	対戦相手	グラウンド	スコア	試合区分
4/15(土)	大阪大学	宇治G	70-7	練習試合
4/23(日)	関西学院大学	関学G	0-58	定期戦
4/30(日)	慶應義塾大学	慶應G	10-54	定期戦
5/4(祝)	時計台クラブ	宇治G	0-25	新歓試合
5/7(日)	立命館大学	立命G	0-78	定期戦
5/13(土)	大阪市立大学	宇治G	0-10	練習試合
5/21(日)	摂南大学	摂南G	7-88	練習試合
5/28(日)	大阪経済大学	未定	0-26	練習試合
6/4(日)	防衛大学	防衛G	17-17	定期戦
6/11(日)	大阪府立大学	宇治G	21-0	練習試合
6/18(日)	成城大学	宇治G	48-28	定期戦



クラブ便り

京都大学ラグビーフットボールクラブ

平成 18 年度 第 4 号 9 月 30 日発行

リーグ戦 1・2 戦結果と監督コーチのコメント

第 1 戦 9 月 23 日 大阪経済大学 (昨年 3 位)

京都大学		T	大阪経済大学	
前半	後半		前半	後半
1	2	G	3	2
0	0	PG	1	0
1	2	計	0	1
8	16		17	13
24		合計	30	
10	5	P	4	5

湯谷 博 監督

大事な開幕戦とあって十分準備して臨み、選手は良く健闘して追いつけたが一步及ばなかった。初戦の緊張感や久し振りの試合のためか、ミス、反則が多く、それから自陣深く攻め込まれてドライブモールで失点した。バックスの突破から得点できているので、その攻撃力を生かして次はぜひ勝ちたい。

岡市 光司 コーチ

力勝負にくる相手に対して FW はまずまず対応できており、昨年までの差はなくなってきている。ただ、攻撃時のミスや反則等によりボール支配率が悪く敵陣で試合を進めることができなかつたため、勝てる試合を落とした。しかし、この悔しさをバネにして残りのリーグ戦を戦うことができれば価値ある一敗となると思うので、次の大産大戦はなんとか勝利してほしい。

第 2 戦 9 月 30 日 大阪産業大学 (昨年 2 位)

京都大学		T	大阪産業大学	
前半	後半		前半	後半
2	1	G	0	1
1	1	PG	0	1
1	1	計	0	10
15	10		0	10
25		合計	10	
5	4	P	5	4

湯谷 博 監督

試合当初から、キックのカウンターアタックやドライブモールなどで着実に得点を重ねて優位に立った。特に FW の自陣ゴール前モールのディフェンス、BK のキック処理、ラインディフェンスが良く、相手の攻撃をほぼ完全に封じて勝つことができた。昨年度 2 位チームに勝ったこの勢いで、次週の花園大学戦に臨みたい。

岡市 光司 コーチ

今日の相手にはもう少し FW のところで獲られるのではないかと懸念していたが、全員がよく前に出て止めることができ、さらにキックでも有利に試合をすすめることができ、さらにキックでも有利に試合をすすめることができてほぼプランどおりに勝利することができた。先週味わった悔しい思いを見事にはらすことができ、選手にはおめでとうと言いたい。ただ、リーグ戦ははじまったばかりであり、しかも今年は各チームの力が拮抗しているため、これで安堵することなく、さらに上をめざしてがんばってほしい。

部員の戦力分析

松林拓磨 (4 回、右プロップ)

春シーズンは、安定したスクラムがまったく組めなかった。原因として、フォワード全体が「いいスクラム」の共通認識を持たず、暗中模索だったことが挙げられる。しかし、合宿中に早稲田や立教のスクラムを見ていい影響を受け、共通認識が徐々に形成され、システムを改善することで、次第に強く安定した「いいスクラム」が組めるようになってきた。同志社戦を通じて、フロントローだけでなくフォワード全体が、自分たちのスクラムは B リーグでも通用するという手応えを得ることができた。フロントローの課題は、選手層の薄さだ。A チームの前列の平均体重は 90 キロを超えるが、B チームは A よりかなり低く、力の差は歴然としている。人数も少なく、4 回生 3 人、3 回生 3 人、二回生ゼロで、1 回生 2 人は大学から始めた。目標は、短期的には B リーグの他大学のスクラムに押し勝つこと。長期的には新人勧誘で部員数を増やし、全員が日ごろから意識を高く持ち、体重を増やしながらかけるフロントローの育成に励むことだ。

飯島佳英 (3 回生、FW)

まだまだ完成したチームとは言えないが、合宿や試合を経て、春に比べてレベルアップはできている。FW としては、戦略を理解してリーグ戦の相手チーム FW と互角以上に戦えることが最大の目標。それができてはじめて京大がリーグ戦での上位を狙えるようになる。もっともっと強く激しい FW を目指して練習に励みたい。昨秋は試合を重ねるごとに他チームとの差が開いてしまった。今年は試合を経るごとにチーム力が上がるようなリーグ戦にしたい。昨年の悔しさを忘れずに頑張りたい。

寺木悠人 (4 回生、SH)

ハーフ団は SH4 回生寺木、4 回生志野、1 回生宮田、SO は 2 回生大脇、1 回生柳の 5 人。主に寺木、大脇がレギュラーだ。SH では、戦力が充実しているとは言いがたいが、3 人とも向上心はあり、少しずつですがうまくなっている。僕自身も合宿で試合慣れし、自信もできてきた。例年同様、FW が他チームを圧倒することはあまりないので、すばい球さばきを課題に頑張りたい。SO では、大脇がチームのエース級。キックやラン、パスなどは上手いが、状況判断やゲームプランなどはさらに上をめざしてほしい。もう 1 人の柳 (1 回生) は小柄ながらセンスがあり、将来性は十分。ハーフ団として秋シーズンは、チーム、ゲームをコントロールして、他校に劣るフィジカルの部分を頭で補い、チームを勝利に導きたい。

森田暢謙 (2 回生、インサイドセンター)

チームの方針が夏合宿で決まり、今は自分たちの追求するラグビーの精度を高めようと練習に励んでいる。同志社戦では相手のプレッシャーが強く、やりたい攻撃があまりできなかったが、防御は前に出ることができた。反省を生かしてリーグ戦までにもっと良いラグビーができるように頑張りたい。個人的には、激しいタックルと正確なゴールキックでチームの勝利に貢献したい。

新林佑介（4回生、WTB）

夏合宿の中頃から新たな戦法に取り組み、リーグ戦を前にみんなの意思が統一され始めている。あとは精度を高めていきたい。春に崩壊したラインディフェンスも、夏合宿で試合を通じて修正でき、同志社戦でも手応えを感じることができた。リーグ戦ではWTBが声を出してラインを統率し、反則や抜かれることのない防御をし、さらに防御から流れを変えることができるような激しいタックルを目標にしたい。夏合宿では怪我人が出たため、これまで試合に出ていなかったメンバーも力をつけ、チームの底上げができた。しかし、Bリーグの他チームに比べると、WTBの決定力が今後の課題だ。みんなが繋いでくれたボールをトライできるように、頑張りたい。

現役激励会 報告

瀬戸口哲夫（昭和55年卒）

京都大学ラグビーフットボールクラブによる現役激励会を9月16日（土）、四条河原町「ミュンヘン」で開催した。昭和24年から平成15年卒業のOB計28名が、現役選手、女子マネジャー計36名と新OB7名を招待し、リーグ戦での健闘を祈念した。

激励会は田代代表幹事の挨拶、参加最年長OBである米原先輩の乾杯で開会。現役がポジション別に自己紹介した後、竹森アドバイザーが、春のシーズン総括とリーグ戦に向けた講評を行った。湯谷監督の挨拶に続き、北原主将の決意表明、そして部歌斉唱で意気を上げ、お開きとなった。北原主将の出身高である福岡高校の森重隆監督からは、母校の夏合宿を訪問した北原主将のリーダーシップと京都大学ラグビー部のリーグ戦での健闘を期待する内容のメッセージが届き、主将をはじめ選手一同の士気を大いに高めた。

参加OBと現役の世代の差は大きいですが、普段接点のあまりない両者が歓談し、大いに盛り上がった。今後ともクラブの公式行事、リーグ戦、定期戦などにOB多数の参加と応援がいただけるようお願いしたい。

ウェイト器具増強の御礼

春摘由紀子（マネジャー）

この度はOB会から、ウェイト器具を大幅に増強いただき、有難うございます。部員一同、届いた早々から、わいわいと使っていました。これまで部員は、シーズンオフの自主トレには、吉田の体育館のウェイトコーナーや、京都市内の公共施設などを探して行っていました。今回の器具増強により、オフ期間中はもちろん、シーズン中の練習後の筋トレにも一層励むことが出来るようになりました。今回は、執行委員会から現役に「何か要望は」と声をかけていただき、その結果、先週には器具が届き、大変迅速な対応に感謝しています。長年の要望がこれだけ早く、目に見えて大きく改善されると、現役にとっては大きな励みになりますし、日ごろからのOBからの援助あってこそこの部活動、ということを改めて感じたと思います。今後とも、ご支援、ご声援の程、宜しくお願いたします。

秋シーズンの結果と今後のスケジュール

日付	対戦相手	グラウンド	結果・K.O.	試合区分
9/2	同志社大学	京田辺	29-40	定期戦
9/23	大阪経済大学	宝ヶ池	24-30	リーグ戦
9/30	大阪産業大学	大経大	25-8	リーグ戦
10/8	花園大学	大経大	12.30pm	リーグ戦
10/15	大阪府立大学	宇治	2pm	練習試合
10/22	大阪教育大学	関大千里山	1pm	リーグ戦
10/29	神戸大学	関大千里山	1pm	リーグ戦
11/5	甲南大学	関大高槻	1.10pm	リーグ戦
11/11	同志社大学	京田辺	2pm	練習試合
11/19	大阪大学	関大千里山	1pm	リーグ戦
11/26	摂南大学	摂南	2pm	リーグ戦
12/3	関西大学	関大千里山	2.40pm	リーグ戦



K.I.U. Rugby News

www.kiurfc.com

2006/11/07 Vol.12 京都大学ラグビー部

例年9月中にお届けしていた秋の号ですが、今年は手違いがあり秋シーズン半ばを過ぎてしまいました。今年度より13年間監督を務めた市口順亮（昭和39年卒）に代わり、湯谷博（昭和49年卒）が新監督となりました。関西Bリーグ9試合中6試合を終え、4勝2敗と昨年の勝ち星（3勝）を上回る成績となっています。

（編集委員）



夏合宿打上げ（菅平）



夏合宿練習試合より

高校生の皆様へ

監督 湯谷博

京都大学ラグビー部は、1922年に創部された古い歴史と輝かしい伝統を持つクラブです。創部以来今日に至るまで、絶えず海外における最新のラグビー戦術の導入に努め、日本のラグビーの近代化と発展に寄与して来ました。戦前には3年連続で全国制覇を果たしたこともあり、戦後においても全国大学選手権大会への出場回数は5回を数え、国公立大学では随一の成績を上げています。

かつて京都大学ラグビー部に在籍していた部員には、ノーベル賞学者の野依教授を始め、官公庁、民間企業、研究教育機関など各界の中核で活躍している多くの優れた人材がいます。ラグビーで培われた能力と人格が、卒業後の人生もきっと実り豊かなものにしてくれることでしょう。

現在は関西の大学Bリーグに所属していますが、今年度は先ずリーグ優勝を目指して部員一同練習に励んでいます。グラウンドは宇治黄檗の丘の上であり、広い敷地と豊かな自然に恵まれ、遙か西に洛南、山城一帯を見渡す眺めは絶景です。この様な恵まれた環境と伝統の中で、ぜひラグビーをされるようお勧めします。高校や小中学校でラグビーを経験された方は勿論のこと、初めての方も大歓迎です。ほんの少し体験されるだけで、このスポーツの魅力の虜になること請け合いです。

京都大学に入学され、ぜひ私達のチームに加わって楽しく充実した大学生活を堪能して下さい。

戦術を練り優位に立つ

主将 北原広大（福岡）

高校ラグビー部の皆さん、こんにちは。京都大学ラグビー部主将の北原広大です。

我がラグビー部は80年以上の歴史を誇りますが、伝統に縛られることなく、創造性豊かなラグビーを目指しています。現在夏合宿を終え、秋のリーグ戦を戦っています。現在、関西大学Bリーグで4勝2敗、残り3試合さらに勝ち星を目指しています。

近年、Bリーグ他大学が強豪高校からの推薦やトンガ等からの留学生により戦力を集めているのに対し、京大は素質や体格の面では決して勝っているとは言えません。しかしながら戦術を練り、徹底させれば、他大学に対する優位性は十分に見出せ、勝利を取めることができるのです！

京都大学ラグビー部は皆さんと一緒にプレーできることを楽しみにしています！！

一回生部員として

大淵（明治学園）

受験生の皆様、こんにちは。京都大学ラグビー部一回生の大淵と申します。私たち一回生が入部してからはや半年ほどが過ぎようとしていますが、この半年間京大ラグビー部の一員として過ごしてきたうえで感じたことを皆様に紹介することで、志望大学、ひいてはその後の大学生活に関しての参考になれば、と思い、この文章を書いています。

私は小学6年からラグビーを始めましたが、高校時代、ラグビー部は創部したばかりの若い部活であったこともあり、満足のいくほどラグビーをしたという気持ちを持ってなかったため、大学でもラグビーを続けることを決意しました。そして、今、その決断が正しかったことを確信して

います。京大ラグビー部はラグビーのみに限らず、非常に環境の良い部活です。練習はラグビー部専用のグラウンドで集中して行うことができるし、レベルの高い内容でありながら先輩方の指導も細やかで、私のように、スポーツが得意とはいえない人や、初心者の人でも能力を伸ばすことのできる環境にあります。先輩後輩関係も堅苦しすぎることなく、非常に雰囲気の良い部活です。また、部活であるという忙しいのではないかと思われがちですが、練習は短時間で集中的に行うので、残った時間を有効に使えば、バイトや勉強や自分の好きなことも十分に行うことができます。実際サークルに入った友人などは、特に夏休みなど長期休暇のとき、ヒマで仕方がないと言っており、ラグビーをして、趣味の時間も取れている、自分の大学生活がいかに充実しているかをこの夏休みに実感した次第です。

いくら言葉を尽くしても語りつくせないことはあります。京大ラグビー部の魅力はまさにそれです。みなさんが、来年、実際に京大ラグビー部を自分の目で、身体で体感し、私もまだ感じつくしたとはいえない魅力を感じ取ってくれる日が来るなら幸いです。

4 勝目となった甲南大戦後のコメント集

[湯谷監督] FWの頑張りでスクラムが安定した結果、攻撃が効果的につながり得意とするドライビングモールを起点に着実に得点を重ねることができた。ラック・モールサイドおよびラインのディフェンスが共に良く、敵の意図した攻撃をほぼ封じることができた。実力伯仲のゲームの強いプレッシャーの中で、ハンドリングなどのミスが多く出たのは残念だが、そういった点を改善して更にレベルアップしたい。

[岡市コーチ] 事前の予想では僅かに相手の方が力が上ではないかと思っていたが、FWの力で上回り前半こそリードをゆるしたものの無事に勝利をおさめることができた。しかし、細かなミスが多く課題も多く残った。リーグ戦は1週間あくので、課題を修正して今年のチームの集大成となるように残り3試合に臨んでほしい。

[北原主将(福岡)] とりあえず勝ててよかった。ずっと負けてた相手だったのでほんとに嬉しい。反省点としては、タックルが高かったこと。ナイスタックルもいくつかあるので、そこを修正しさえすればディフェンスは格段に向上する。あと小さなミスもいくつかあったので、練習の時から意識していきたい。次は大阪大学戦だが決して油断できない。一週間意識は維持しつつも体を休め、大阪大学戦絶対に勝つ。

[油田(4回生 茨木)] 今日勝ったこと、そしてこの第2節を全勝で終わったことがとても嬉しいです。課題としていたスクラムをしっかり組めたことは、評価出来る点だと思います。ただ、キックオフはまだまだ改善の余地があります

し、反則が多かったことも修正しなければなりません。この2週間で体を休め、より良いチームを目指したいと思います。

[飯島(3回生 明和)] 楽しい試合ができてよかった。いくつか反省するところもあったけど、最大の課題だった前半の立ち上がりもここ最近の試合で一番よかったし、また課題を修正して次の試合につなげたい。

[足立(3回生 六甲)] 今日は、セットプレー、シャローディフェンスなどで、試合を通して敵にプレッシャーを与え続けることが出来ていたと思います。ただ、最後後少しいうところで、集中力が途切れてしまって敵に得点を許してしまったことも否めないと思います。摂南、関大戦厳しい試合展開が予想されますが、最後まで集中してプレー出来ればいいと思います！

[寺木(4回生 札幌南)] 今日は実力の拮抗した甲南に勝って、本当にうれしい。個人的にはDFは頑張れたと思うが、スクラムやポイントからのパスアウトがあまりよくなかったので、次の大阪大学戦までに改善したい。

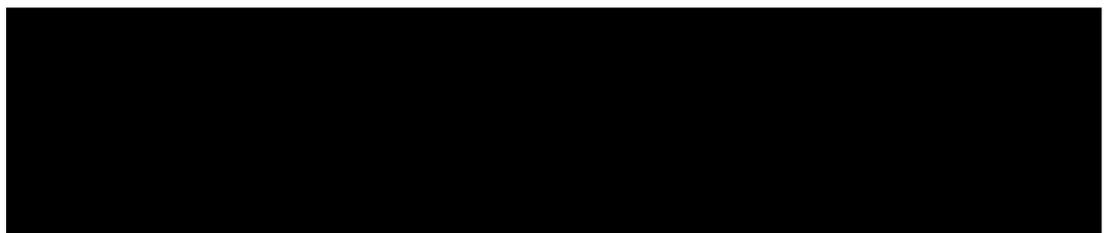
[前田(4回生 六甲)] 大教、神戸、甲南と勝たなければならない三試合を三連勝できたことは大変うれしい。バックスのディフェンスもだんだんよくなってきておりあとはオフェンスの精度をもっともっと高めていきたい。このチームはまだ強くなれると思うのでしっかり練習を積んでいきたい。

2006年春 主な試合結果

日付	結果		試合区分
4/23	京都	0-58	関西学院 定期戦
4/30	京都	10-54	慶応義塾 定期戦
5/7	京都	0-78	立命館大 定期戦
6/4	京都	17-17	防衛大学 定期戦
6/18	京都	48-28	成城大学 定期戦

2006年秋 主な試合結果と予定

日付	結果		試合区分
9/2	京都	29-40	同志社 定期戦
9/23	京都	24-30	大阪経済 関西大学B
9/30	京都	25-8	大阪産業 関西大学B
10/8	京都	29-36	花園大学 関西大学B
10/22	京都	59-35	大阪教育 関西大学B
10/29	京都	34-12	神戸大学 関西大学B
11/5	京都	28-19	甲南大学 関西大学B
11/19	京都		大阪大学 関西大学B
11/26	京都		摂南大学 関西大学B
12/3	京都		関西大学 関西大学B
未定	京都		九州大学 定期戦
12/23	京都		東京大学 定期戦





クラブ便り

京都大学ラグビーフットボールクラブ

平成 18 年度 第 5 号 12 月 12 日発行

12 月 3 日の関西大学戦で関西大学 B リーグの日程が終了し、京都大学は 5 勝 4 敗 6 位と健闘しました。

(昨年 8 位)

今回は各試合のコメントを中心に編集しました。

同志社定期戦 (9 月 2 日、京田辺) 29-40 ●

湯谷博監督

前半はセットピースが安定し、意図した通りの早い連続攻撃がしばしば成功し、敵ゴール前ではモールを押して得点できた。ラインディフェンスのプレッシャーも全般的に見れば良く効いていたと思う。後半は、スクラムでプレッシャーを受けた上、PK やラックモールからの敵の早い仕掛けに対応が遅れ、次第に劣勢に陥った。また、意図的なノータッチキックなどで、キックしたボールを取り戻せずにピンチを招いた場面も多かった。

北原広大(4 回生 福岡)CTB ゲームキャプテン

修正すべき点が明確になった。何をすれば強くなれる、もしくは勝てる、それがみんなわかったのではないだろうか。その点から見れば、とても有益な試合だった。

油田澄(4 回生 茨木)Lo フォワードキャプテン

スクラムはもっと精度を上げれば、秋は押されないだろう。モールは出来がよかったので、このまま伸ばし 1 つの武器としたい。大きな課題は DF だ。まだまだサイドのセットが遅く、前に出ていない時も多い。

大経大 (9 月 23 日、宝ヶ池) 24-30 ●

湯谷博監督

大事な開幕戦とあって十分準備して臨み、選手は良く健闘して追い上げたが一步及ばなかった。初戦の緊張感や久しぶりの試合のためか、ミス、反則が多く、それから自陣深く攻め込まれてドライビングモールで失点した。バックスの突破から得点できているので、その攻撃力を生かして次はぜひ勝ちたい。

岡市光司コーチ

力勝負にくる相手に対して FW はまずまず対応できており、昨年までの差はなくなってきている。ただ、攻撃時のミスや反則等によりボール支配率が悪く、勝てる試合を落とした。この悔しさをバネにリーグ戦を戦うことができれば価値ある一敗となると思う。

北原広大 (4 回生 福岡) WT B

次の試合に向けて気持ちを切替えなければならない。ディフェンスももっと前に出れるし、キック処理の精度を上げさえすれば、まだまだ強くなれる。

大産大 (9 月 30 日、大経大) 25-8 ○

湯谷博監督

試合当初から、キックのカウンターアタックやドライビングモールなどで着実に得点を重ねて優位に立った。特に FW の自陣ゴール前モールのディフェンス、BK のキック処理、ラインディフェンスが良く、相手の攻撃をほぼ完全に封じて勝つことができた。昨年度 2 位チームに勝ったこの勢いで、次週に臨みたい。

松林 拓磨 (4 回生 旭丘) P r o

昨年二位だった大産に勝てたこと、しかも、1 トライしか許さなかった意義は大きい。スクラムやラインアウトでは一定の成果が得られた。

寺木悠人 (4 回生 札幌南) S H

ゲームの最初から集中力を高めて切らさなかったこと、FW の頑張りが勝因だった。昨年負けたスクラムが、ボールを出せたのは特筆すべき。

森田暢謙 (2 回生 天王寺) CTB

80 分間いいディフェンスを続けられたことが勝ちに繋がった。FW が相手 FW を封じてくれたお陰だ。すごくいいチームになってきている。

花園大 (10 月 8 日、大経大) 29-36 ●

湯谷博監督

前半は、敵の連続攻撃を良く凌ぎ、数少ないチャンスを生かしてリードしたが、後半の勝負どころでミスが出て競り負けた。前週の大産大戦と得点はほぼ同じだが失点が多すぎた。接点で捕まえているものの、倒しきれずに攻撃を継続されて失点に繋がっている。カバーディフェンスが遅れたことも反省点。攻撃ではラインアウトからのドライビングモールが安定した得点源になっている。バックスのライン攻撃に威力を増したい。

大教大 (10 月 22 日、関大千里山) 59-35 ○

湯谷博監督

FW 戦では優勢が予想されたので、FW でボールを支配し相手の早いライン攻撃を押さえ込む方針で臨んだが、特にドライビングモールを中心に FW 周辺の攻撃で圧倒し得点を重ねることができた。前半はミスなどにより先行され敵陣に入らず苦戦したが、前半終了間際と後半最初に得点を上げ優位に立った。最後までスタミナ切れを起さず競り勝つことができたのは、夏合宿以来続けてきた走り込みの成果が出たものと思われる。

小林晋(3 回生 海城) WT B

前半からの途中出場でも悪かったので、トライが取れてよかった。バックスはディフェンスサインの統一、ディフェンスラインの形成にまだまだ課題がある。

神戸大 (10 月 29 日、関大千里山) 34-12 ○

湯谷博監督

今シーズンの戦績から判断して、難しいゲームになることが予想できたが、やはり前半は特にスクラムで圧力をかけられ、ボールを効果的に支配できなかった。ライン攻撃に対する 2 次防御の不備やキック処理も問題点。しかし倒れずに立ってボールをつなごうとする意識が徹底し、連続攻撃から得点できた。この点は今シーズン大きく改善されたことで、試合後にレフリーからも褒められた。

山田真也(3 回生 六甲) H O

FW にとってかなりしんどい試合になり、なかなかバックキックなどに走れず個人的に悔いが残る試合だった。スクラムも相手の低さにやられ押すことさえままならなかった。

福江怜(4 回生 砺波) CTB

夏合宿以来の 2 センで、試合前から DF が不安で、精神的

にしんどの試合だったが、最低限の仕事はできたと思う。もっと余裕を持ってプレーできるように頑張りたい。

甲南大 (11月5日、関大高槻) 28-19 ○

湯谷博監督

FWの頑張りでスクラムが安定した結果、攻撃が効果的につながり得意とするドライブモールを起点に着実に得点を重ねることができた。ラック・モールサイドおよびラインのディフェンスが共に良く、敵の意図した攻撃をほぼ封じることができた。実力伯仲のゲームの強いプレッシャーの中で、ハンドリングなどのミスが多く出たのは残念だが、そういった点を改善して更にレベルアップしたい。

足立圭佑(3回生 六甲) No.8

今日は、セットプレー、シャローディフェンスなどで、試合を通して敵にプレッシャーを与え続けることが出来た。ただ、あと少しというところで、集中力が途切れて敵に得点を許した。最後まで集中してプレー出来ればいいと思う。

大阪大 (11月19日、関大千里山) 36-12 ○

湯谷博監督

これまで負傷者が少なかったが、今日はSOなど主力メンバーが病気や怪我のため欠場した。試合中にも負傷交代が相次いだこともあり、攻撃、防御ともコンビネーションが合わなかったが、後半はドライブモール、ラックからの連続攻撃などで徐々に本来のリズムを取り戻した。リーグ戦も残り2試合となり強敵を迎えるが、現有の戦力でベストを尽くし勝ち進みたい。

丹羽政雄(2回生 旭丘) FL

初めてフルで試合に出て自分の弱さがいろいろ実感でき、よい経験になった。モールの感覚にはだいぶ慣れたが、もっとアタックに絡む動きを磨いていきたい。

摂南大 (11月26日、摂南) 7-60 ●

湯谷博監督

良いタックルもあったが、相手に攻撃を継続される間に次第にタックルが甘くなり、防御体制を崩されて失点が重なった。相手から攻撃できる時間とスペースを奪うよう、一試合を通じて厳しくプレッシャーをかけ続けることが大切。攻撃の機会は少なかったが、折角のマイボールも、スクラムが押された上にダブルハーフによるミスも重なり、効果的な攻撃につながらなかった。キックやキック処理の精度を上げることも従来からの課題だ。

前田賢謙(4回生 六甲) CTB

完敗。自分が試合の組み立てをしなればいけなかったが、いざ試合になると焦りが先行し、チームに迷惑をかけてしまった。

佐藤洋行(4回生 旭丘) CTB

自分がチームを引っ張って勝利に結びつけようと、気合いを入れて試合に臨んだが完敗だった。摂南はセットプレーにまとまりがあって、DF、OFの技術や考え方がしっかりコーチング、統一されたいいチームだった。でも悔しい。

コンタクトはそこまで強くなかったし、相手メンバーの一人一人に負けたとは思わない。ほんの少しの意識の差だと思う。もう少しやれたんじゃないか。とても悔しい。

関西大 (12月3日、関大千里山) 12-59 ●

湯谷博監督

スクラムやラインディフェンスの出足は良かったが、微妙にタックルポイントをずらされ、またラックのドライブでも劣勢となった結果、相手に継続的にボールを支配された。キックの攻防でも相手のスキルが上回っていた。上位になる可能性を残しながら最後まで緊張感を持ってリーグ戦を戦えたのは幸いだった。ご声援ありがとうございました。

岡市光司コーチ

今シーズンはとにかく学生が自ら律して練習に取り組んだことで、昨年よりもよい成績を残すことができたし、上位との差も埋めることができるという確信が持てたのではないかと。今後ももっと上に目標を置いてがんばってほしい。

北原広大(4回生 福岡) FB

リーグ戦の最後のほうは息切れした感があるが、とにかく目の前の一試合一試合を勝つために必死にやってきた。3回生以下にとって、入替戦出場という目標が真実味を増したシーズンになったと思う。最後の最後までラグビーを楽しむ、有終の美を飾りたい。

船瀬悠太(4回生 四条畷) FL

リーグ戦、初めてのスタメンで緊張した。個人的な内容は最悪でチームの足を引っ張ってしまったが、けっこう楽しかった。

東京大定期戦 案内

東京大学との定期戦が以下の日程、場所、スケジュールで開催されます。試合後は現役レセプションと併せて東京大学OBとの懇親会も開催されますので、多数ご参加いただきますようご案内申し上げます。

■12月23日(祝)

■宝ヶ池球技場(京都市左京区松ヶ崎西池ノ内町)

TEL 075-313-9131

■試合スケジュール

年配OB戦 10:50KO 30分×1本

駒場WMM vs KIURFC若手 11:20KO 30分×2本

現役Aチーム 13:00KO

現役Bチーム 14:45KO

■レセプション

OB懇親会 17:00開始

現役レセプション 17:30開始

会場 カンフォラ(京大正門入る左側 カフェレストラン) TEL 075-753-7628

http://www.s-coop.net/time/shop_camphora.htm

■年配、若手OB戦に関する問い合わせは湯谷監督に

au6h-ytn@asahi-net.or.jp

その他ご不明な点があれば瀬戸口(S5卒)に

tetsuo-setoguchi@osakagas.co.jp

携帯 090-1891-4891



クラブ便り

京都大学ラグビーフットボールクラブ

平成 18 年度 第 6 号 2 月 1 4 日発行

九大定期戦 (12 月 16 日、九大貝塚) 19-14 ○

湯谷博監督

キック攻撃が不調で反則も多く、なかなか敵陣に入れなかったが、数少ないゴール前のモール、ラックを基点に得点できた。前後半を通じてディフェンスのプレッシャーが良く効き、相手のバックス攻撃を封じることができた。スクラムが押されたが、これまでになく球出しが良かったことは評価できる。

試合後には、九州在住OBの皆様が交歓会を開いて下さり、現役代表、スタッフをご招待いただきました。有り難うございました。

岡市光司コーチ

リーグ戦が終わった緊張感の緩みか、しっかり立っていることができないための倒れこみや、戻るのをさぼったことによるオフサイドなど不用意な反則が多く、タックルも捕まえにいくだけで相手の攻撃の継続を許すことになった。来週の最終戦(東大戦)は、今年やってきたことをすべて出し切ってほしい。

東大定期戦 (12 月 23 日、宝ヶ池) 27-31 ●

湯谷博監督

A戦では、前半は東大の強い風を利したキックで自陣に押し込まれることが多く、ラック中心の速い連続攻撃にも後れを取ってディフェンスミスを生じた。風上に立った後半は、ロングキックとドライビングモールで追いつけたが及ばなかった。A、Bチームとも良く健闘したが、リーグ戦の時より個々の基本スキルの精度が落ちていた。B戦では、4回生の活躍とともに下級生のスピードあるプレーが随所に見られ、今シーズンの成長ぶりが窺えた。

今シーズンを振り返って 湯谷博監督

今シーズンの目標はリーグ優勝でしたが、結果は5勝4敗の6位と残念ながら速く目標に及びませんでした。しかし、優勝チームに続き6勝の4チームが並立する混戦のBリーグで、それに次ぐ成績を確保できました。上位チームのうち3チームとは互角に渡り合え、Aリーグとの入れ替え戦に出場した2位のチームに勝てたこと、リーグ戦最終戦まで入れ替え戦に出る可能性を残しながら緊張感を持って戦えたことに手応えを感じています。この経験はきつと来シーズンに生かすことができると思います。

一般にBリーグは、Aリーグと比べるとゲームでのプレッシャーが弱く、精度の劣ったスキルやスローテンポの試合運びでも通用するようです。優勝あるいはAリーグに昇格するためには、Aリーグレベルのプレッシャーの中でも生かせる高い基本スキル、フィットネス、スピードが要求されます。このため、まず今シーズンは徹底して基本スキルを高めることに重点を置きました。強いプレッシャーの中でも個々の選手が基本スキルをミスなく正確に使えれば、チームとしても相当の力を発揮できるはずです。戦略面では自陣、中盤、敵陣の地域ごとに選択すべき戦法を絞り込み、選手の判断を統一できるよう配慮しました。

8月の練習開始以降、竹森アドバイザーが指導の中心となって、本格的に基本スキルの向上とゲームのスピードアップに取り組み、9月末のリーグ戦開幕前まで、かなり体力的に負荷の重い練習を消化しました。その結果、リーグ戦の前半から中盤では上位チームとも互角に渡り合え、リーグ戦を勝ち越す結果につながりました。具体的にはバツ

クスのシャローディフェンスにより相手に強いプレッシャーをかけ、ラックからの速い球出しによりゲームのテンポを上げて優位に立ちました。主な得点源はドライビングモール、敵陣に攻め込んでからの大外への展開、およびPKによるもので、この期間は安定して30点前後の得点が見込めました。一方、それ以上の失点があると負けるケースが多かったようです。

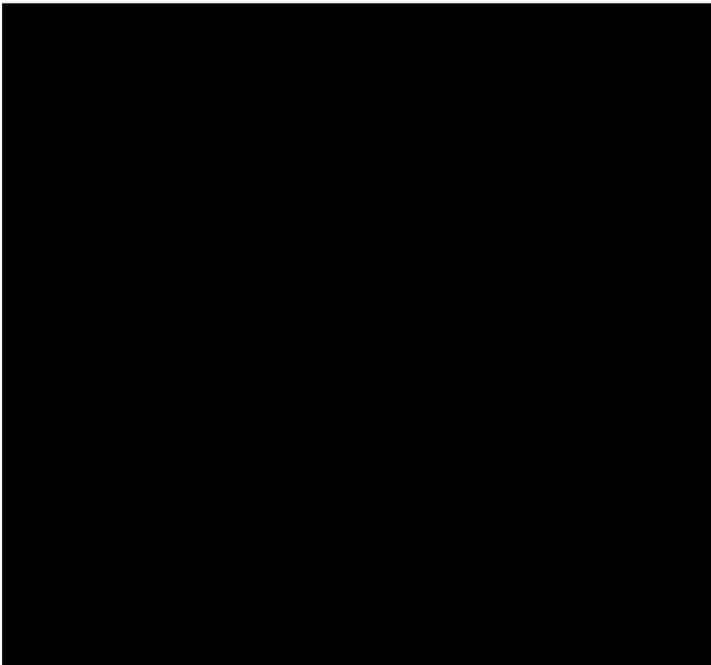
シーズン後半には、主力選手の怪我や病気が相次いだため、思うような成績に至りませんでした。長いシーズンにあっても一定の戦力を維持・強化するには、やはり年間を通して系統的に一貫した方針で個々の選手の基本スキルとフィットネスを強化し続けることが肝要ですが、この教訓を来シーズンの強化計画に反映して行くつもりです。また、怪我が多くても戦力補充が効く体制が必要ですが、そのためには多くの新入部員の獲得が鍵となります。施設設備については、OBの皆様から多大の援助をいただき、ビデオ装置、シャワールーム、トレーニング設備、散水設備などが改善され、練習環境が着実に向上しています。

シーズンを終えるにあたり、物心両面に亘り応援していただいたOBの皆様には厚くお礼申し上げますと共に、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い致します。

秋の定期戦結果

日付	結果	試合区分
9/2	京都大学 29-40 同志社大学	定期戦
12/16	京都大学 19-14 九州大学	定期戦
	〃 B 10-12 〃 B	
12/23	京都大学 27-31 東京大学	定期戦
	〃 B 19-28 〃 B	

4回生進路



新年度の三役

主将：飯島佳英(明和 FL)
副主将：足立圭佑(六甲 NO.8)
主務：小笠原奨悟(天王寺 LO)

関西地区OBの懇親会

湯谷監督や竹森アドバイザーを迎えて、来シーズンの展望や現役の活動サポートにまつわる課題について、意見交換を図るとともに、関西地区OBの懇親を深めたいと思います。ふるって参加下さい。

記

日時 平成19年3月9日(金) 18:30～

場所 スーパードライ梅田

〒530-0047 大阪市北区西天満 4-15-10、ニッセイ同和損保フェニックスタワーB1、御堂筋梅田新道交差点東南角
電話 06-6311-2829

地図は、<http://www.asahifoodcreate.co.jp/index.htm> を参照。

会費 5,000円程度

出欠を2月28日(水)までに石脇あてご連絡下さい。

e-mail ishiwaki.mikiya@d2.kepco.co.jp

携帯 090(3721)1001

第4回執行幹事会

1月20日(土)、京大会館にて開催。

和田会長、執行幹事3名(田代、瀬戸口、峯本)、湯谷監督らが出席し、昨年度の活動の総括や今後の計画、評議員会の議案などについて協議しました。

1. H18年度の会費収入

H18年度の会費収入は、1月15日現在5565千円。目標の5500千円を若干上回っているが、学年委員を通じて、未納者への督促を今一度行う。65歳以上のシニア会員の会費は任意となっているが、どのように払えばよいのかとの問い合わせが多かった。振込み用紙を同封するなど、趣旨を徹底させる。

2. 評議員会の議案

芝生化の件

宇治グラウンドの「芝生化」を検討する「芝生化委員会」を発足させた(リーダー:S49 清史彦)。「天然芝案」の場合、グラウンド使用法とメンテの仕方が問題になる他、資金集めをどのように行うか、アクションプランを議論する。

奨学資金貸付制度の創設の件

過重なアルバイトなどでラグビー部活動に支障を来している学生に対し一定の奨学資金を貸与する制度を発足させたい。具体的な規定案を作成して評議員会に付議する。

3. 新年度の行事予定など

リクルート活動の充実

南出強化副委員長 S52 をリクルートグループリーダーとし、来年にむけた活動のアクションプランを作成中。

ラグビーフェスティバルの実施

4月15日宝が池競技場で、「京都大学ラグビーフェスティバル」を行う。内容はラグビースクールの交流試合、高校の招待試合など。実行委員会(委員長 S55 瀬戸口)が、

具体案を練り、参加を呼びかける。

慶応定期戦

4月22日宝が池球技場で実施する。

トピックス

柴垣復生(S25)さんが現役を激励

10月24日(火)、当日の練習は18時から農学部グラウンドで行なわれたが、岸田健(S28)さんと一緒に久しぶりに農学部グラウンドを訪れた柴垣さんは、17時からのミーティングでこのグラウンドでの厳しい練習と、日本代表に選ばれ、戦後初めての国際試合(S27年対オックスフォード大学)に出場(SO)された昔を懐かしみながら、今年好調のこのチームが更に力を付けるには「倒れている選手は1秒でも2秒でも早く立ち上がれ」「ボールキャリアーより他の14人の動きが大切」「本当のタックルはアタック」などの内容で現役を激励されました。

北白川会 in 宮崎

北白川会と名づけた会があります。メンバーは昭和20～30年代卒のOBです。「北白川」は農学部グラウンドの地名であり、我々青春の血潮が染み込んでいる所でもあります。当時、我々の下宿は殆ど北白川にありました。

「北白川会 in 浜松」は、10月25日に浜松で開催しました。今回は幹事を関西軍が担当、梶原(S38年)さんのご手配で実に楽しいゴルフ&宴会を催しました。参加者は東軍・堀(S27)キャプテン以下11名、西軍・遠く宮崎から駆けつけられた柴垣(S25)キャプテン以下9名、年齢82歳から65歳まで平均年齢70ウン歳、総員19名、全員元気澁刺無事ホールアウト。

恒例の東西対抗戦、先の九州・宮崎での東軍勝利で大枚剥奪された西軍は、幹事特権で上位6名のネット合計で争うとの新ルールで争うも、上仲さん欠席もあり、又も4差で東軍勝利。個人戦では、初参加の東軍・小泉(S35)さんが優勝(グロス83, ネット73), 二位は、同じく初参加の西軍・松尾(S38)さんでした(グロス93, ネット78)。

歓喜・泣き言・恨み節・清算と、賑やかな会話と旨い酒に酔いしれ、各自部屋に戻ってから深夜まで、老体に鞭打って飲み語り合う一日でした。(梶野亮一 S38)

日本ラグビーフットボール協会創立80周年記念

11月4日(土)に表記記念試合「日本代表対オーストリア首相XV」とレセプションがあり、湯谷監督の代理として参加させていただきました。レセプションには多くのラグビー関係者がパレスホテルの会場を埋め尽くし、森喜朗協会会長は2015年のワールドカップ招致に再挑戦することを明言しました。

京都大学からは私の他に松原さんがOB会代表として、和田さん、田代さんが協会関係者として参加しました。学士ラグビー倶楽部にも伝統あるチームのひとつとして招待があり、関東学士副会長の池田氏(名古屋大学)が参加したことも付け加えておきます。(白石良多 S54)